

林産物に関するマンスリーレポート（仮称）

—令和3年9月（創刊準備号）—



「林産物に関するマンスリーレポート（仮称）」とは
⇒ 木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しようとするものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています（準備号は除く）。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが不連続となる場合があります。

創刊に当たって

このたび、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「林産物に関するマンスリーレポート(仮称)」を創刊することといたしました。

本誌の発行を通じまして、より多くの方々が森林・林業・木材産業に関する政策や事業活動を取り巻く状況について関心と理解を深めてくださるよう努めたいと考えております。

今後、読者の皆様の御意見も聞きつつ改善を積み重ね、皆様にとって役立つ情報を広く提供していきたいと考えておりますので、よろしく御支援、御協力のほどお願い申し上げます。

目次（令和3年9月（創刊準備号））

特集

- 1 2020年農林業センサス概要
- 2 需給情報連絡協議会
- 3 民間建築物等における木材利用促進に向けた協議会（ウッド・チェンジ協議会）
- 4 「木材利用促進月間（10月）」の取組

特集1

特集4

特集5

特集6

1 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数 <参考>新設住宅着工面積
- 2 木材産業の業況
- 3 USドル及びユーロ為替相場
- 4 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃
- 5 EUにおける建設活動水準、中国の針葉樹丸太輸入量

基礎1

基礎4

基礎5

基礎6

基礎7

2 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格
- 2 木材価格、製品価格

価格1

価格3

3 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向
- 2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 5 間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高

需給1

需給4

需給5

需給6

需給7

4 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額
- 2 木材輸出額
- 3 木材輸入額
- 4 木材輸入量
- 5 製材、構造用集成材の輸入平均単価

輸出1

輸出2

輸入3

輸入4

輸入9

5 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量
- 2 特用林産物の林業産出額
- 3 特用林産物の輸出入量
- 4 特用林産物の輸出額
- 5 きのこと類の卸売量・価格

特用1

特用2

特用3

特用4

特用7

2020年農林業センサス概要①

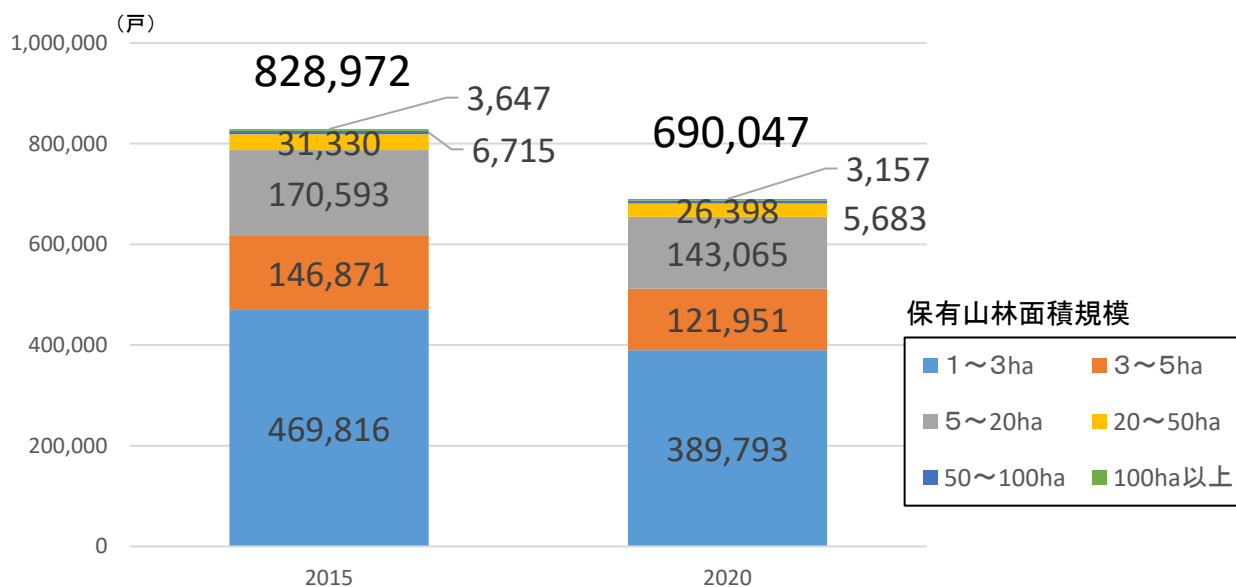
- 農林業センサスは、農林業・農山村の現状と変化を的確に捉え、きめ細かな農林行政を推進するため、5年ごとに農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人を対象に調査。

○農林水産省HP>2020年農林業センサス報告書

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2020/030628.html>

- 2020年の林家数は69.0万戸、2015年の82.9万戸に比べ、13.9万戸減少し、前回調査比で16.8%減少。
- 2020年の林家保有山林面積は459万ha、2015年の517万haに比べ、58万ha減少し、前回調査比で11.3%減少。

○林家数の推移（保有山林面積規模別）

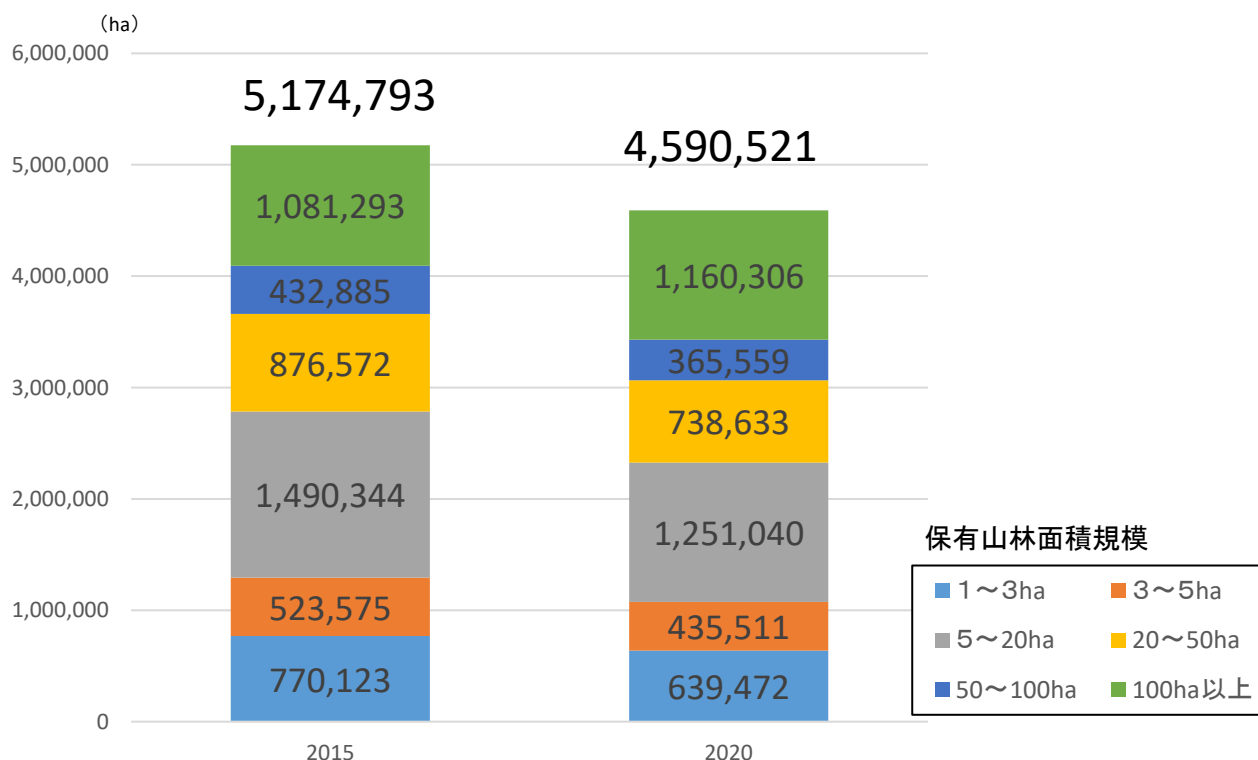


資料：農林水産省「農林業センサス（2015, 2020）」

注1：林家は、各調査年2月1日現在の保有山林面積が1ha以上の世帯。

注2：保有山林は、自らが林業経営に利用できる（している）山林のこと（保有山林＝所有山林－貸付山林＋借入山林）。

○林家保有山林面積の推移（保有山林面積規模別）

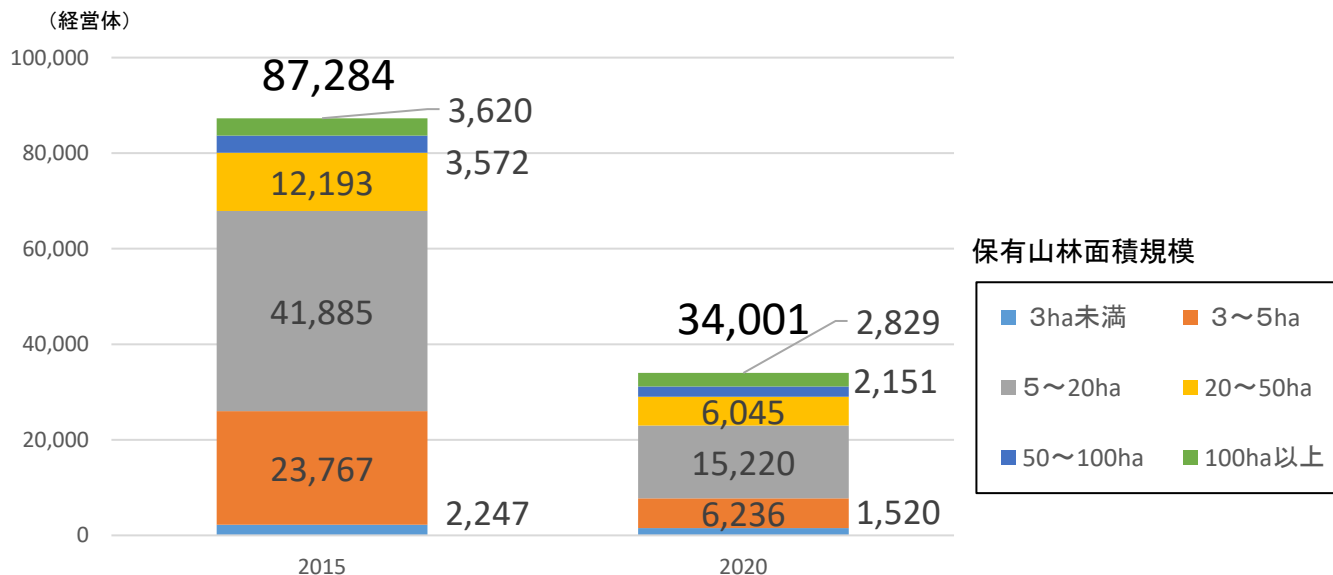


資料：農林水産省「農林業センサス（2015, 2020）」

2020年農林業センサス概要②

- 2020年の林業経営体数は3.4万経営体、2015年の8.7万経営体に比べ、5.3万経営体減少し、前回調査比で61.0%減少。
- 2020年の林業経営体保有山林面積は332万ha、2015年の437万haに比べ、105万ha減少し、前回調査比で24.0%減少。

○林業経営体数の推移（保有山林面積規模別）

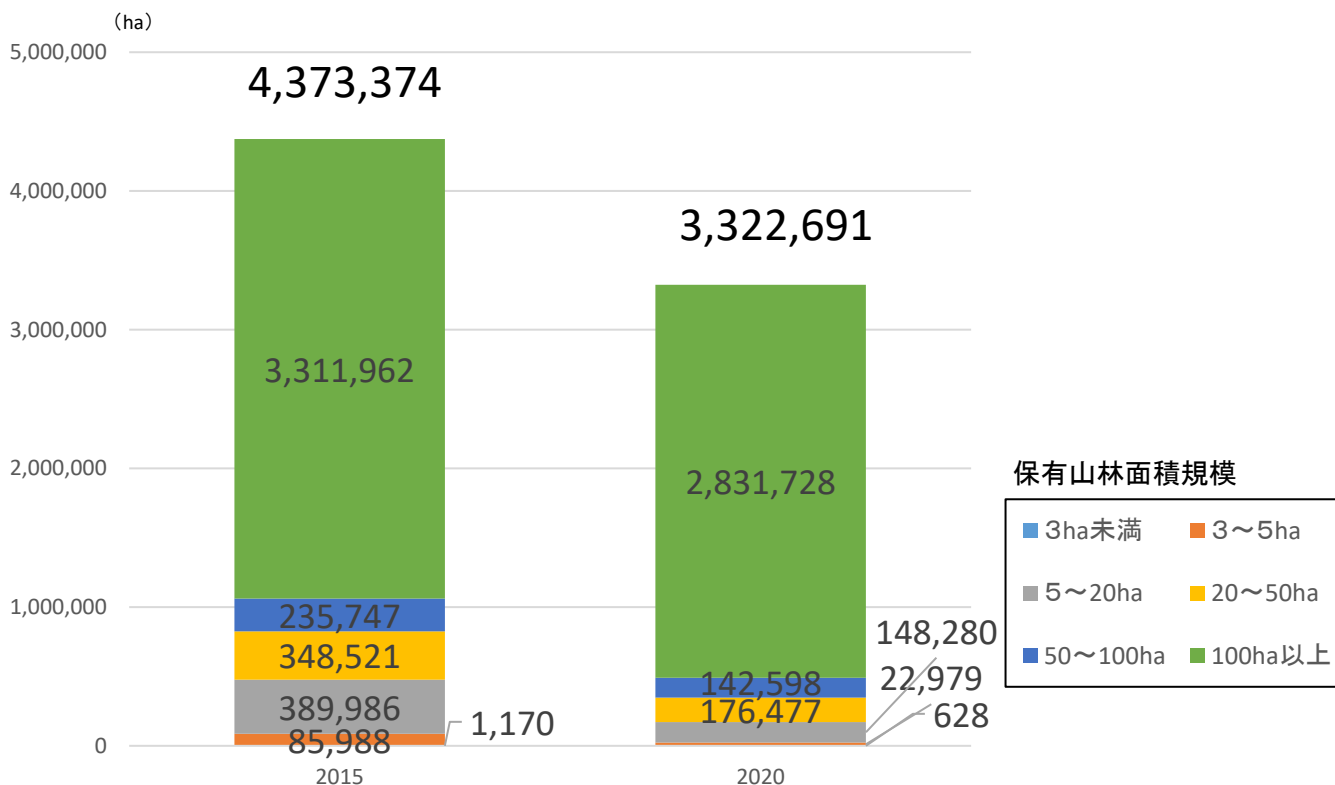


資料：農林水産省「農林業センサス（2015,2020）」

注1：林業経営体は、次の①又は②のいずれかに該当するもの。

- ① 保有山林面積が3ha以上で、かつ、調査期日前5年間に林業経営（育林・伐採）を行った者、又は、調査実施年をその計画期間に含む「森林経営計画」を作成している者。
- ② 委託を受けて素材生産又は立木を購入して素材生産を行っている者（調査期日前1年間に200㎡以上の素材生産した者に限る。）。または、素材生産以外の林業サービス（育林作業）を行っている全ての者。

○林業経営体保有山林面積の推移（保有山林面積規模別）

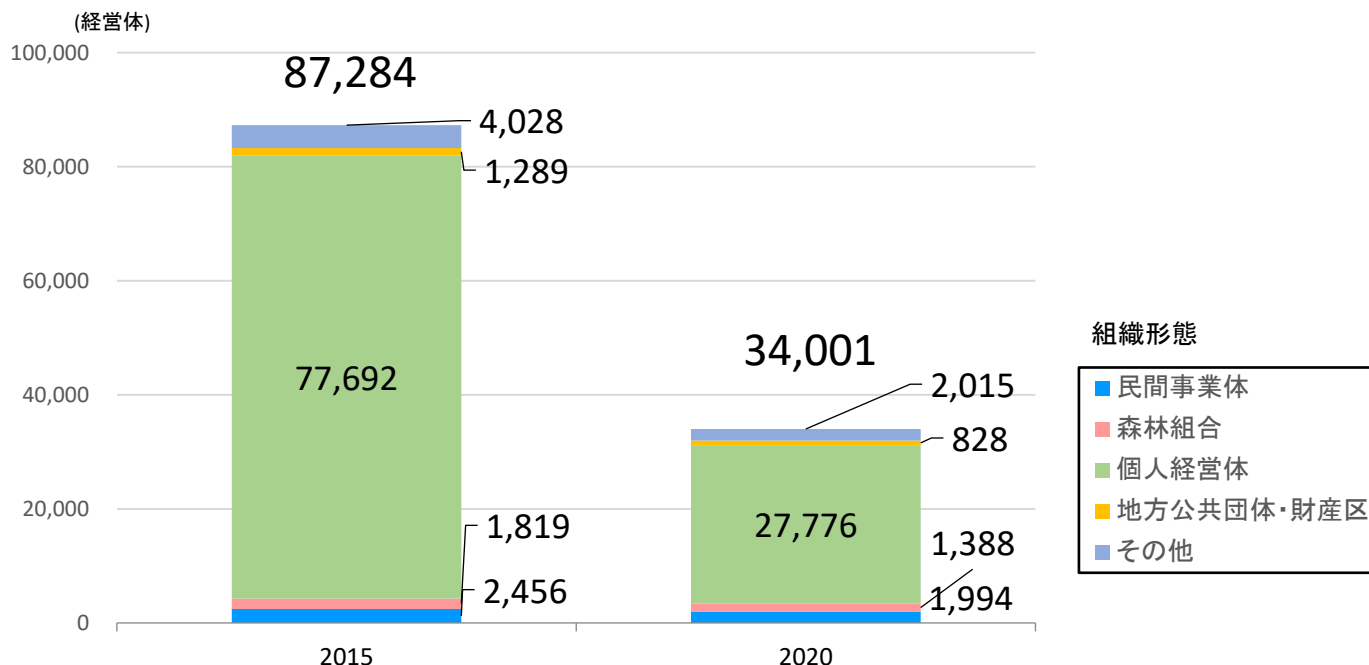


資料：農林水産省「農林業センサス（2015,2020）」

2020年農林業センサス概要③

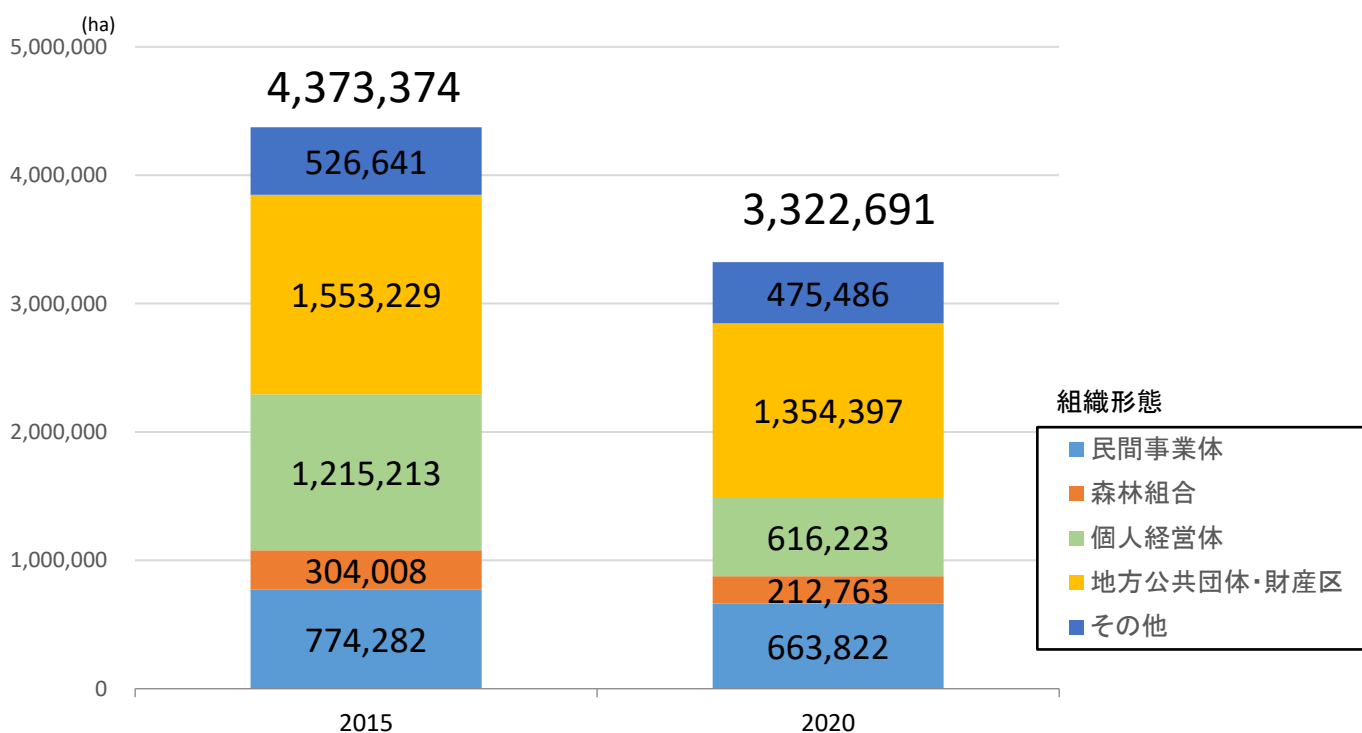
- 林業経営体のうち、その大半を個人経営体が占めている。2020年の個人経営体数は2.8万経営体、2015年の7.8万経営体に比べ、5.0万経営体減少し、前回調査比で64.2%減少。
- 2020年の個人経営体による保有山林面積は62万ha、2015年の122万haに比べ、60万ha減少し、前回調査比で49.3%減少。

○林業経営体数の推移（組織形態別）



資料：農林水産省「農林業センサス（2015, 2020）」

○林業経営体保有山林面積の推移（組織形態別）



資料：農林水産省「農林業センサス（2015, 2020）」

需給情報連絡協議会

- 国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材等の需給情報の収集・共有を図る事業として、中央及び全国7地区において需給情報連絡協議会（以下「協議会」）を開催。

協議会の構成及び令和3年度の取組

○中央協議会

構成：学識経験者、中央団体等から構成
議題：木材輸入の状況について
木材需給の動向（全国）について
開催状況（令和3年度）：9月10日

○地区別協議会（全国7地区）

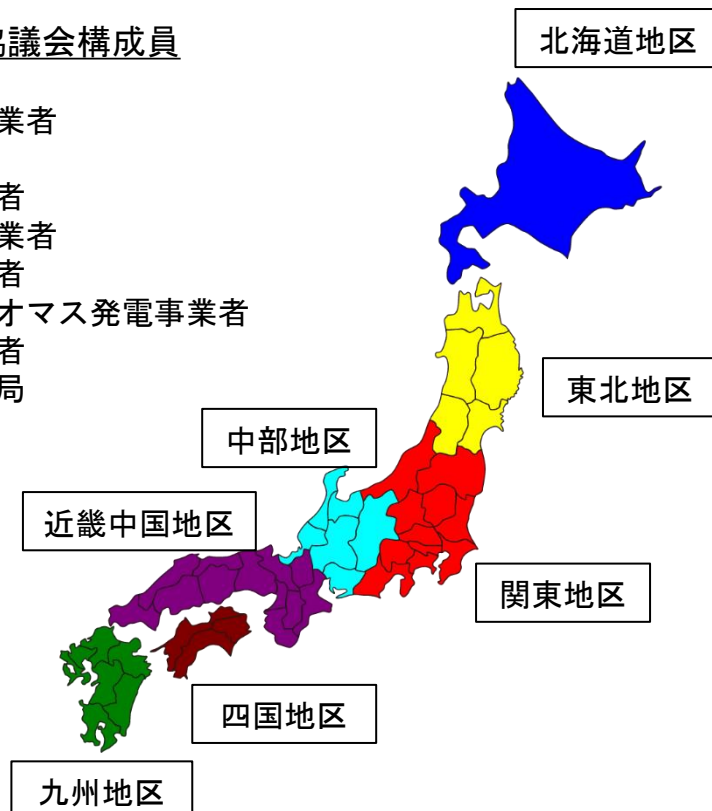
構成：学識経験者、地区における主要な事業者、都道府県等
議題：需給情報（地区）等
開催状況（令和3年度）：
第1回 5月下旬～7月下旬
第2回
九州地区 9月16日（予定）
中部地区 9月24日（予定）
近畿中国地区 9月28日（予定）
四国地区 9月29日（予定）
関東地区 9月30日（予定）
東北地区 10月5日（予定）
北海道地区 調整中

○支部別協議会（都道府県単位）

構成：（必要に応じ設置）都道府県、関係団体等
議題：需給情報（都道府県）等

○地区別協議会構成員

- ・ 森林組合
- ・ 素材生産業者
- ・ 原木市場
- ・ 苗木生産者
- ・ 木材加工業者
- ・ 製紙事業者
- ・ 木質バイオマス発電事業者
- ・ 学識経験者
- ・ 森林管理局
- ・ 工務店



民間建築物等における木材利用促進に向けた協議会 (ウッド・チェンジ協議会)

- ・ 民間建築物等における木材利用の促進に向けて、経済・建築・木材供給関係団体など、川上から川下までの幅広い関係者が一堂に参画する官民協議会「ウッド・チェンジ協議会」を立ち上げ。
- ・ 令和3年9月13日（月）に第1回目の会合を開催し、建築物での木材利用について各界における取組状況の発表や関係省庁から情報提供を行い、意見交換を実施。

○目的

木材利用の促進に向けた課題の特定や解決方策の検討、先進的な取組の発信、木材利用に関する情報共有を行うことにより、木材を利用しやすい環境づくりに取り組む。

○参加団体等

・ 会長：隅 修三（東京海上日動火災保険株式会社 相談役）

・ 団体・企業等：

(公社)経済同友会	(一社)日本経済団体連合会	日本商工会議所	(一社)住宅生産団体連合会
(一社)日本建設業連合会	(公社)日本建築士会連合会	(一社)日本ビルディング協会連合会	(一社)不動産協会
全国森林組合連合会	(一社)全国木材組合連合会	(一社)中大規模木造プレカット技術協会	(一社)日本林業経営者協会
全国知事会	全国市長会	全国町村会	みなと森と水ネットワーク会議
ウッドソリューション・ネットワーク (農林中央金庫)	(公社)国際観光施設協会	(一社)日本プロジェクト産業協議会	ウッド・チェンジ・ネットワーク ワーキンググループ事務局
中央日本土地建物(株)	東京海上日動火災保険(株)	日本マクドナルドホールディングス(株)	野村不動産ホールディングス(株)
ヒューリック(株)	SMB建材(株)	(株)大林組	(株)シェルター
(株)JM	住友林業(株)	(株)竹中工務店	東急建設(株)
ナイス(株)	ポラス(株)	前田建設工業(株)	三井ホーム(株)
三井不動産(株)	三菱地所(株)	(株)久慈設計	(株)日建設計

・ 研究機関：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

・ 関係省庁：総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、農林水産省（事務局）



会長の隅 修三氏



第1回ウッド・チェンジ協議会の様子

「木材利用促進月間（10月）」の取組

- 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が令和3年6月に改正され（令和3年10月1日施行）、国民の間に広く木材の利用の促進についての関心と理解を深めるため、10月8日を「木材利用促進の日」、10月を「木材利用促進月間」と定められた。
- これを踏まえ、林野庁は関係省と連携し、脱炭素社会の実現に向け、「木材利用促進の日（10月8日）」及び「木材利用促進月間（10月）」において、地方公共団体や産学とも連携し、国民の木材利用についての関心と理解を深めるための普及啓発に重点的に取り組む。

イベント情報

1. 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行記念講演会・シンポジウム

主催：「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行記念講演会・シンポジウム実行委員会

日時：令和3年10月8日（金曜日）14時00分～16時00分

場所：有楽町朝日ホール（オンライン形式との併用（予定））

記念講演：隈研吾氏（建築家）

パネリスト：隈研吾氏（建築家）

隅修三氏（東京海上日動火災保険(株)相談役、
ウッド・チェンジ協議会会長）

伊藤明子氏（消費者庁長官）

平田美沙子（林業漫画家）

詳しい情報：<http://www.jcatu.jp/symposium2021>

2. その他全国で実施される関係省関連（関係団体を含む）、地方公共団体関連のイベントは、以下の木材利用促進本部サイト内の「関連イベント情報」でご確認ください。

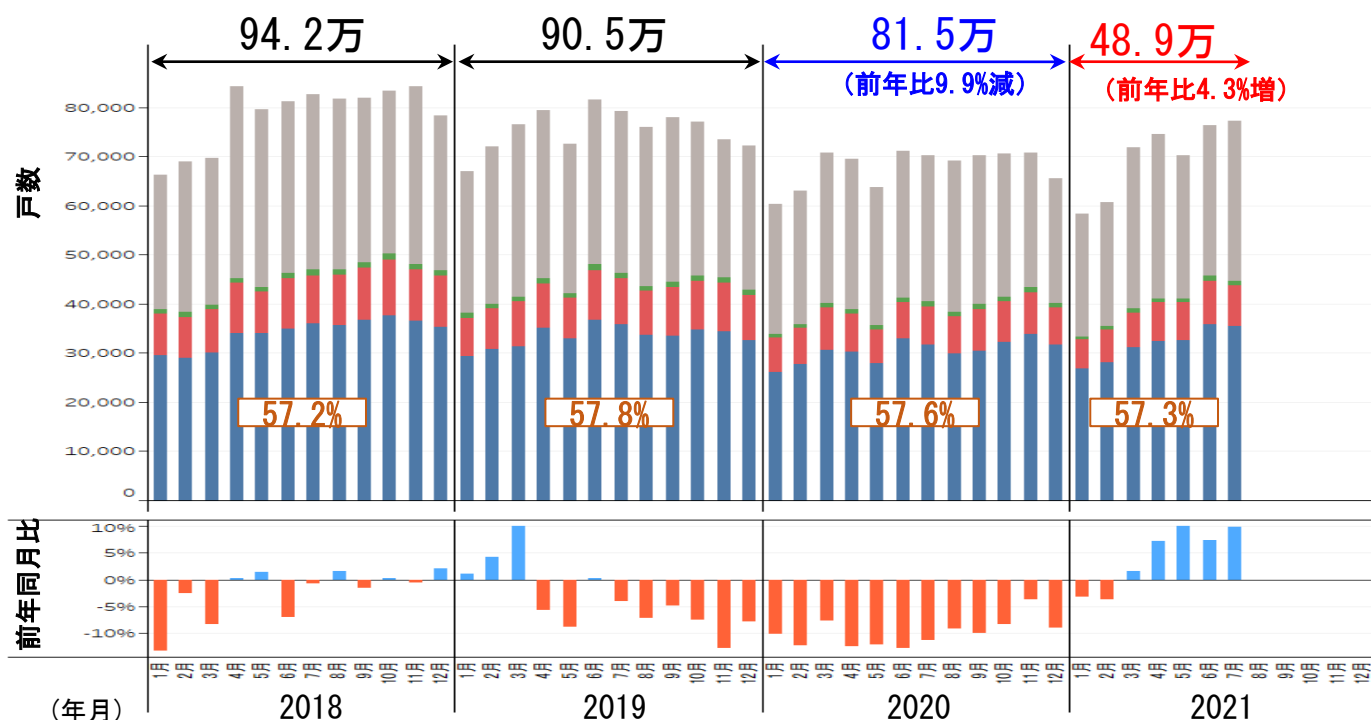
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/honbu.html>

（掲載しているイベントは、随時更新の予定です。）



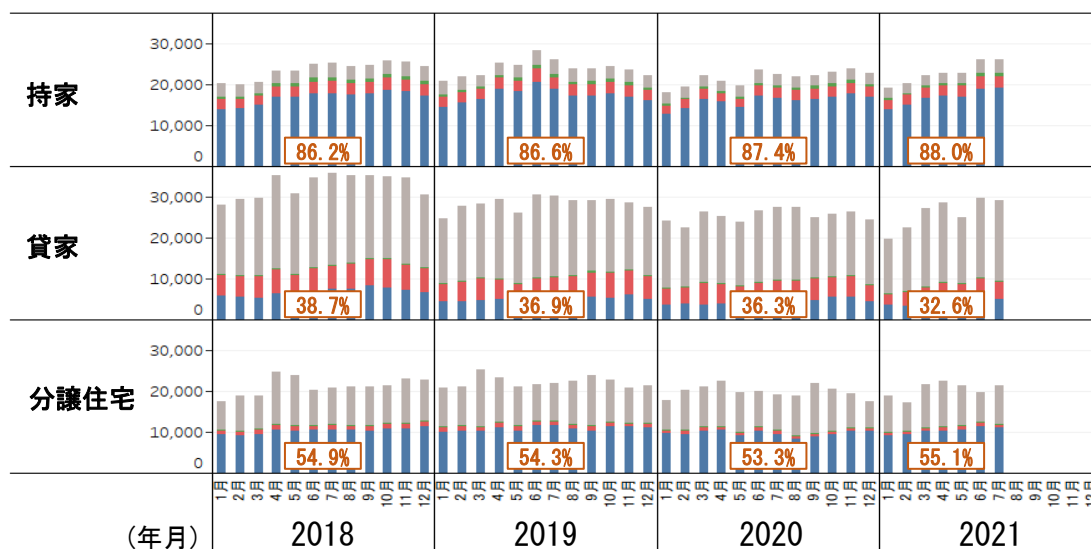
新設住宅着工戸数

- 2020年の新設住宅着工戸数は、81.5万戸（前年比9.9%減）、このうち木造住宅は46.9万戸（同10.3%減）。
- 2021年1～7月の新設住宅着工戸数は、48.9万戸（前年比4.3%増）、このうち木造住宅は28.0万戸（同5.5%増）。



構造別の着工戸数	2021年 1～7月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	489,192	468,927	4.3%	528,354	-7.4%
■ 非木造	208,715	202,964	2.8%	226,993	-8.1%
木造	280,477	265,963	5.5%	301,361	-6.9%
■ 木造プレハブ	5,567	6,075	-8.4%	7,012	-20.6%
■ 2×4	52,430	52,576	-0.3%	61,889	-15.3%
■ 在来軸組	222,480	207,312	7.3%	232,460	-4.3%
□ 木造率	57.3%	56.7%		57.0%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

<参考>新設住宅着工床面積の推移（構造別）

(単位:千m²、%)

年・月		合計		木造							非木造		木造率	木造1戸当りの床面積 (m ² /戸)	
				計		在来軸組		2×4		プレハブ					
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
平成29年	1	6,255	114	3,613	103	2,867	103	633	104	113	90	2,642	135	57.8	92.5
	2	5,768	97	3,706	101	2,953	102	636	98	117	103	2,062	92	64.2	93.6
	3	6,031	98	3,884	99	3,109	100	670	95	104	90	2,148	96	64.4	93.5
	4	6,842	103	4,217	101	3,356	102	752	98	109	98	2,624	106	61.6	93.3
	5	6,410	98	4,184	102	3,328	102	741	102	114	97	2,226	93	65.3	93.5
	6	7,145	102	4,494	99	3,534	98	825	102	136	101	2,651	107	62.9	94.1
	7	6,697	97	4,408	96	3,493	97	794	96	120	80	2,290	98	65.8	92.4
	8	6,418	96	4,296	95	3,424	96	759	91	113	88	2,122	98	66.9	91.6
	9	6,584	96	4,407	97	3,476	98	810	95	121	91	2,178	94	66.9	91.1
	10	6,545	95	4,464	97	3,513	97	830	96	120	96	2,082	91	68.2	91.0
	11	6,711	99	4,502	98	3,575	99	803	95	124	99	2,209	100	67.1	90.2
	12	6,108	97	4,172	99	3,299	99	756	99	117	102	1,935	93	68.3	91.8
平成30年	1	5,325	85	3,594	99	2,833	99	660	104	101	89	1,731	66	67.5	92.2
	2	5,444	94	3,542	96	2,809	95	624	98	110	93	1,903	92	65.1	92.4
	3	5,600	93	3,718	96	2,968	95	652	97	99	95	1,882	88	66.4	93.6
	4	6,696	98	4,240	101	3,373	101	766	102	101	92	2,456	94	63.3	93.8
	5	6,415	100	4,122	99	3,347	101	677	91	98	86	2,292	103	64.3	95.0
	6	6,510	91	4,362	97	3,463	98	774	94	125	93	2,147	81	67.0	94.3
	7	6,590	98	4,379	99	3,497	100	759	95	123	102	2,211	97	66.4	93.3
	8	6,450	101	4,338	101	3,443	101	781	103	114	100	2,113	100	67.2	92.3
	9	6,478	98	4,397	100	3,481	100	799	99	117	96	2,080	96	67.9	90.8
	10	6,690	102	4,607	103	3,624	103	852	103	131	109	2,083	100	68.9	91.8
	11	6,768	101	4,491	100	3,584	100	790	98	117	95	2,277	103	66.4	93.4
	12	6,343	104	4,353	104	3,438	104	795	105	120	102	1,990	103	68.6	93.0
平成31年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
令和元年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
令和2年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
平成29年計		77,515	99	50,346	99	39,926	99	9,010	97	1,411	94	27,168	100	65.0	92.3
平成30年計		75,309	97	50,144	100	39,860	100	8,929	99	1,356	96	25,165	93	66.6	93.0
令和元(平成31)年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
令和2年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
H29年	第1四半期	18,054	103	11,203	101	8,929	102	1,938	99	335	94	6,852	106	62.0	93.2
	第2四半期	20,397	101	12,896	100	10,218	100	2,318	101	359	99	7,501	102	63.2	93.6
	第3四半期	19,700	96	13,111	96	10,392	97	2,363	94	355	86	6,589	97	66.6	91.7
	第4四半期	19,364	97	13,137	98	10,387	98	2,389	97	361	99	6,227	95	67.8	91.0
H30年	第1四半期	16,369	91	10,854	97	8,609	96	1,935	100	309	92	5,515	80	66.3	92.7
	第2四半期	19,621	96	12,725	99	10,184	100	2,217	96	324	90	6,896	92	64.9	94.3
	第3四半期	19,518	99	13,114	100	10,421	100	2,339	99	354	100	6,404	97	67.2	92.1
	第4四半期	19,802	102	13,452	102	10,646	103	2,438	102	368	102	6,350	102	67.9	92.7
(H31年) R元年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
R2年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
R3年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1

資料:国土交通省「住宅着工統計」

<参考>新設住宅着工床面積の推移（利用関係別・資金別）

（単位：千㎡、％）

年・月		合計		利用関係別								資金別						
				持家		貸家		給与		分譲		民間		公的				
				前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比				
平成29年	1	6,255	114	2,423	99	1,499	113	34	116	2,300	139	1,131	105	5,581	117	675	95	
	2	5,768	97	2,570	100	1,452	109	32	112	1,713	86	1,114	101	5,014	96	754	108	
	3	6,031	98	2,620	96	1,585	109	36	90	1,790	93	1,153	104	5,297	99	734	92	
	4	6,842	103	2,894	100	1,726	105	26	120	2,195	106	1,198	106	6,051	104	790	94	
	5	6,410	98	2,897	100	1,526	98	22	40	1,964	98	1,175	105	5,683	101	727	80	
	6	7,145	102	3,156	95	1,692	96	33	81	2,265	118	1,228	104	6,266	102	879	99	
	7	6,697	97	3,076	93	1,688	95	35	68	1,898	105	1,214	99	5,934	98	763	91	
	8	6,418	96	2,930	91	1,607	94	32	72	1,849	108	1,190	100	5,720	98	698	85	
	9	6,584	96	3,008	96	1,765	99	42	173	1,769	92	1,175	97	5,858	96	727	96	
	10	6,545	95	2,990	95	1,757	92	40	75	1,759	98	1,229	104	5,771	96	774	86	
	11	6,711	99	2,984	95	1,717	96	28	123	1,983	107	1,304	107	5,984	100	727	91	
	12	6,108	97	2,780	97	1,534	96	32	165	1,762	99	1,243	106	5,433	98	674	94	
平成30年	1	5,325	85	2,412	100	1,304	87	35	103	1,573	68	1,111	98	4,684	84	640	95	
	2	5,444	94	2,387	93	1,343	92	53	163	1,662	97	1,096	98	4,757	95	687	91	
	3	5,600	93	2,475	94	1,386	87	21	60	1,717	96	1,129	98	4,970	94	630	86	
	4	6,696	98	2,821	97	1,635	95	35	134	2,205	100	1,273	106	5,905	98	791	100	
	5	6,415	100	2,824	97	1,435	94	81	360	2,075	106	1,230	105	5,724	101	691	95	
	6	6,510	91	3,042	96	1,603	95	45	138	1,821	80	1,230	100	5,722	91	788	90	
	7	6,590	98	3,063	100	1,642	97	24	68	1,860	98	1,239	102	5,783	97	807	106	
	8	6,450	101	2,934	100	1,617	101	38	116	1,862	101	1,239	104	5,729	100	721	103	
	9	6,478	98	2,980	99	1,597	90	34	80	1,867	106	1,228	105	5,754	98	723	100	
	10	6,690	102	3,098	104	1,630	93	51	128	1,911	109	1,295	105	5,895	102	795	103	
	11	6,768	101	3,041	102	1,629	95	37	133	2,061	104	1,299	100	6,000	100	768	106	
	12	6,343	104	2,889	104	1,424	93	25	79	2,005	114	1,346	108	5,601	103	742	110	
平成31年	1	5,484	103	2,477	103	1,144	88	32	92	1,831	116	1,154	104	4,871	104	613	96	
	2	5,828	107	2,603	109	1,317	98	53	100	1,855	112	1,229	112	5,139	108	689	100	
令和元年	3	6,320	113	2,675	108	1,326	96	29	135	2,290	133	1,218	108	5,629	113	692	110	
	4	6,532	98	3,052	108	1,392	85	48	140	2,040	93	1,316	103	5,799	98	733	93	
	5	6,126	95	2,991	106	1,255	87	32	40	1,848	89	1,238	101	5,392	94	734	106	
	6	6,849	105	3,415	112	1,458	91	43	95	1,934	106	1,359	111	6,084	106	765	97	
	7	6,656	101	3,147	103	1,482	90	39	162	1,988	107	1,356	110	5,884	102	772	96	
	8	6,397	99	2,868	98	1,447	89	20	53	2,062	111	1,271	103	5,691	99	706	98	
	9	6,412	99	2,857	96	1,377	86	32	95	2,146	115	1,237	101	5,690	99	722	100	
	10	6,386	95	2,894	93	1,385	85	23	46	2,084	109	1,331	103	5,657	96	729	92	
	11	6,036	89	2,791	92	1,349	83	23	61	1,873	91	1,323	102	5,331	89	705	92	
	12	5,850	92	2,619	91	1,295	91	46	183	1,889	94	1,296	96	5,179	92	671	90	
	令和2年	1	4,821	88	2,110	85	1,127	99	17	52	1,567	86	1,135	98	4,254	87	566	92
		2	5,194	89	2,299	88	1,057	80	31	58	1,807	97	1,133	92	4,601	90	593	86
3		5,848	93	2,640	99	1,276	96	54	187	1,878	82	1,207	99	5,135	91	714	103	
4		5,758	88	2,512	82	1,214	87	34	70	1,998	98	1,210	92	5,108	88	650	89	
5		5,195	85	2,343	78	1,092	87	29	91	1,732	94	1,082	87	4,644	86	551	75	
6		5,861	86	2,816	82	1,212	83	36	84	1,797	93	1,208	89	5,239	86	622	81	
7		5,616	84	2,694	86	1,253	85	28	71	1,642	83	1,121	83	5,005	85	611	79	
8		5,466	85	2,589	90	1,220	84	33	166	1,624	79	984	77	4,911	86	555	79	
9		5,825	91	2,631	92	1,152	84	50	154	1,992	93	1,042	84	5,288	93	537	74	
10		5,735	90	2,707	94	1,189	86	48	207	1,791	86	1,104	83	5,160	91	575	79	
11		5,750	95	2,801	100	1,198	89	36	160	1,715	92	1,180	89	5,159	97	591	84	
12		5,385	92	2,661	102	1,111	86	39	85	1,574	83	1,180	91	4,811	93	574	86	
令和3年	1	4,825	100	2,234	106	911	81	23	136	1,656	106	1,064	94	4,332	102	493	87	
	2	5,045	97	2,388	104	1,031	97	29	94	1,598	88	1,089	96	4,467	97	579	98	
	3	5,838	100	2,634	100	1,261	99	26	49	1,917	102	1,177	97	5,241	102	597	84	
	4	6,064	105	2,709	108	1,339	110	24	70	1,992	100	1,202	99	5,477	107	587	90	
	5	5,852	113	2,714	116	1,151	105	37	128	1,950	113	1,224	113	5,249	113	603	110	
	6	6,295	107	3,104	110	1,351	111	31	88	1,808	101	1,317	109	5,687	109	608	98	
	7	6,352	113	3,082	114	1,358	108	25	89	1,888	115	1,275	114	5,748	115	604	99	
平成29年計		77,515	99	34,328	96	19,549	100	392	91	23,246	104	14,355	103	68,592	100	8,923	92	
平成30年計		75,309	97	33,967	99	18,245	93	477	122	22,619	97	14,714	103	66,523	97	8,786	98	
令和元(平成31)年計		74,876	99	34,388	101	16,228	89	420	88	23,840	105	15,329	104	66,346	100	8,530	97	
令和2年計		66,454	89	30,803	90	14,101	87	434	103	21,116	89	13,585	89	59,315	89	7,139	84	
H29年	第1四半期	18,054	103	7,613	98	4,537	110	102	104	5,802	104	3,398	103	15,892	104	2,163	98	
	第2四半期	20,397	101	8,947	98	4,945	100	81	69	6,424	107	3,601	105	18,000	103	2,396	91	
	第3四半期	19,700	96	9,013	94	5,060	96	110	91	5,516	101	3,579	99	17,511	97	2,188	90	
	第4四半期	19,364	97	8,754	95	5,007	95	99	105	5,504	101	3,777	106	17,189	98	2,175	90	
H30年	第1四半期	16,369	91	7,275	96	4,033	89	109	107	4,952	85	3,336	98	14,411	91	1,958	91	
	第2四半期	19,621	96	8,687	97	4,673	95	160	198	6,101	95	3,732	104	17,351	96	2,270	95	
	第3四半期	19,518	99	8,977	100	4,856	96	95	87	5,589	101	3,705	104	17,266	99	2,252	103	
	第4四半期	19,802	102	9,028	103	4,683	94	113	114	5,977	109	3,940	104	17,496	102	2,306	106	
(H31年) R元年	第1四半期	17,632	108	7,756	107	3,787	94	114	104	5,976	121	3,602	108	15,638	109	1,994	102	
	第2四半期	19,507	99	9,457	109	4,104	88	123	77	5,822	95	3,913	105	17,275	100	2,232	98	
	第3四半期	19,465	100	8,872	99	4,306	89	91	96	6,196	111	3,865	104	17,266	100	2,199	98	
	第4四半期	18,272	92	8,304	92	4,030	86	92	81	5,846	98	3,950	100	16,166	92	2,106	91	
R2年	第1四半期	15,863																

木材産業の業況

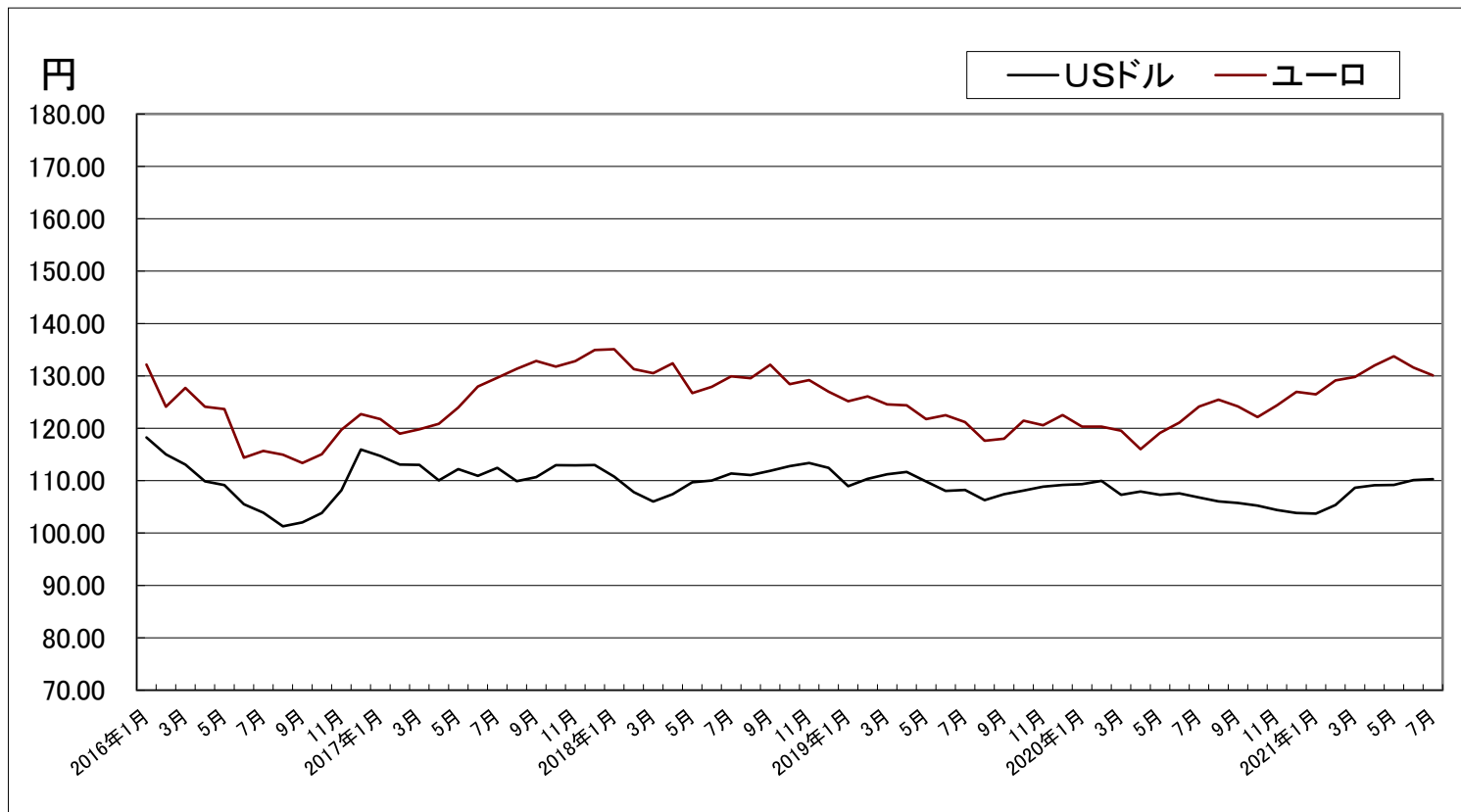
- 2020年は、木材産業の倒産件数が27件（前年比10%減）、負債金額が3,852百万円（同21.1%減）。
- 2021年1～7月は、木材産業の倒産件数が15件（前年比16.7%減）、負債金額が3,973百万円（同63.3%増）。

年・月	企業倒産状況								
	全 企 業				木材・木製品業				
	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	
平成30年	1	635	105	104,559	81	2	100	150	89
	2	617	90	89,979	78	1	50	460	69
	3	789	100	132,672	79	3	150	1,037	4,148
	4	650	96	95,467	92	4	400	718	1,436
	5	767	96	104,399	98	3	43	254	8
	6	690	98	219,527	14	4	133	703	193
	7	702	98	112,711	103	1	20	50	9
	8	694	109	121,268	131	1	25	185	41
	9	621	91	184,197	217	2	100	30	30
	10	730	100	117,619	123	2	67	6,708	2,058
	11	718	106	121,279	83	1	100	52	19
	12	622	89	81,792	21	2	67	1,717	592
平成31年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
令和元年	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
令和2年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
令和3年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
平成30年計		8,235	98	1,485,469	47	26	74	12,064	181
令和元(平成31)年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
令和2年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
H30年	第1四半期	2,041	98	327,210	79	6	100	1,647	191
	第2四半期	2,107	96	419,393	23	11	100	1,675	44
	第3四半期	2,017	99	418,176	146	4	36	265	24
	第4四半期	2,070	98	320,690	50	5	71	8,477	954
(H31年) R元年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
R2年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
R3年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170

資料：東京商工リサーチ「TSR情報(全国企業倒産状況)」

USドル及びユーロ為替相場

- 2021年7月の為替相場は、1ドル110.29円、1ユーロ130.11円。



年月	USDドル	ユーロ
2016年1月	118.25	132.17
2月	115.02	124.11
3月	113.07	127.70
4月	109.88	124.12
5月	109.15	123.65
6月	105.49	114.39
7月	103.90	115.67
8月	101.27	114.95
9月	102.04	113.36
10月	103.82	115.05
11月	108.18	119.70
12月	115.95	122.70
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00

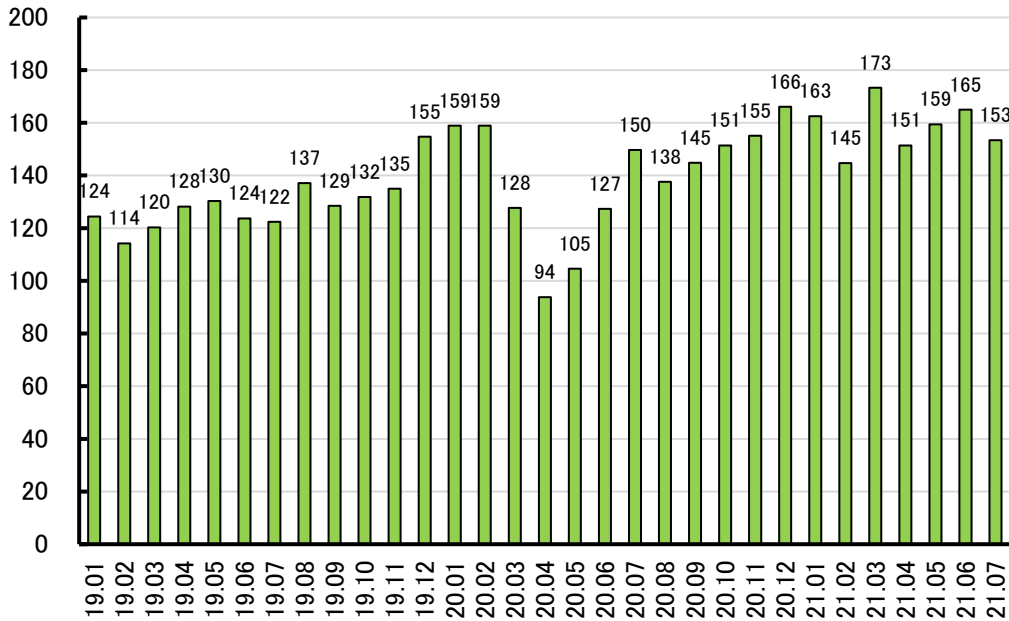
年月	USDドル	ユーロ
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

米国民間新設住宅着工戸数、コンテナ運賃

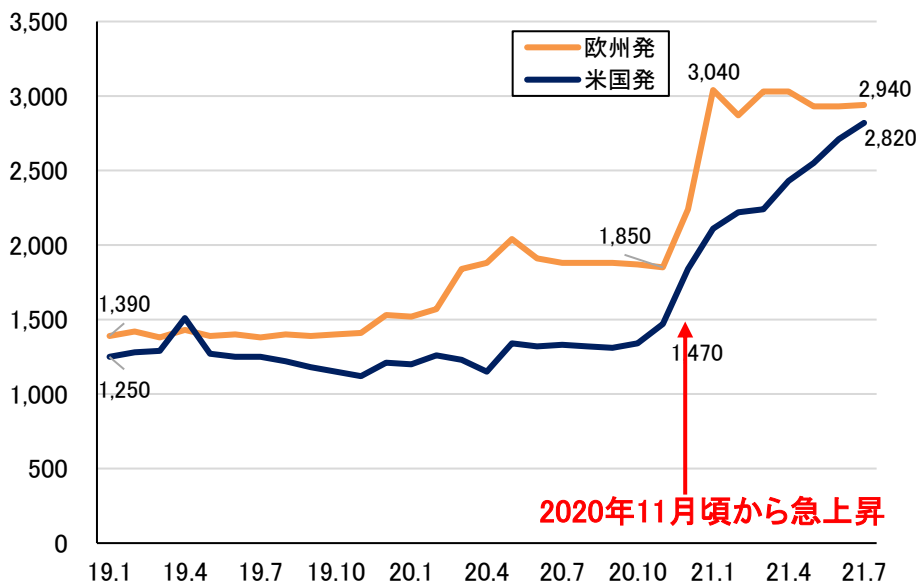
- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、昨年5月から急増。本年3月に173万戸（年率換算）を記録。本年7月は、前月比▲7%減の153万戸。
- 2020年末から、米国での輸入急増とコロナ禍に伴う港湾処理能力の低下等により、北米にコンテナが滞留して、アジアでコンテナが不足。海上輸送運賃が急激に値上がり。本年7月は、欧州発が横ばいとなる一方、米国発は依然として上昇。

○米国における住宅着工戸数
(万戸)



資料: (住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移
(米ドル/個)



2020年11月頃から急上昇

(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

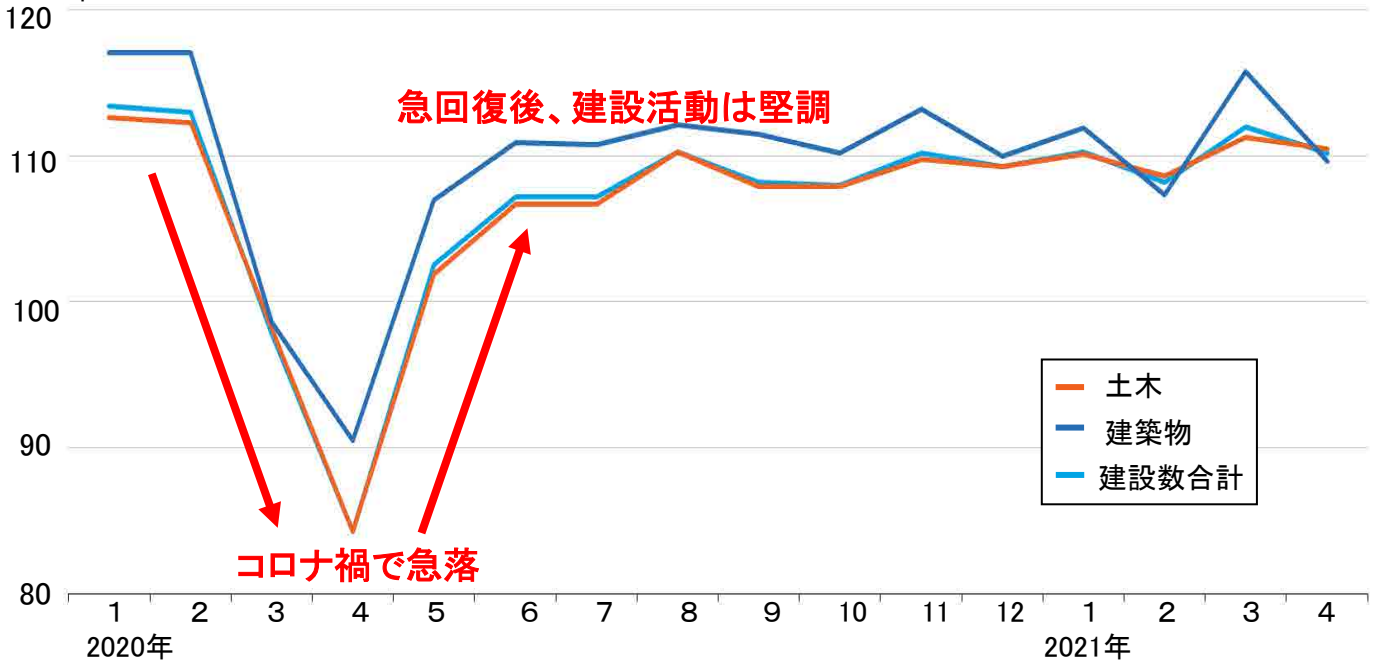
資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

EUにおける建設活動水準、中国の針葉樹丸太輸入量

- EUでは、コロナ禍により、昨年春に建設活動が急落したが、夏以降は回復して、以後、堅調に推移。
- 中国では、木材需要の増加が継続。過去10年で、針葉樹丸太輸入量は1.8倍に増加。世界各地から、木材を買い集め。

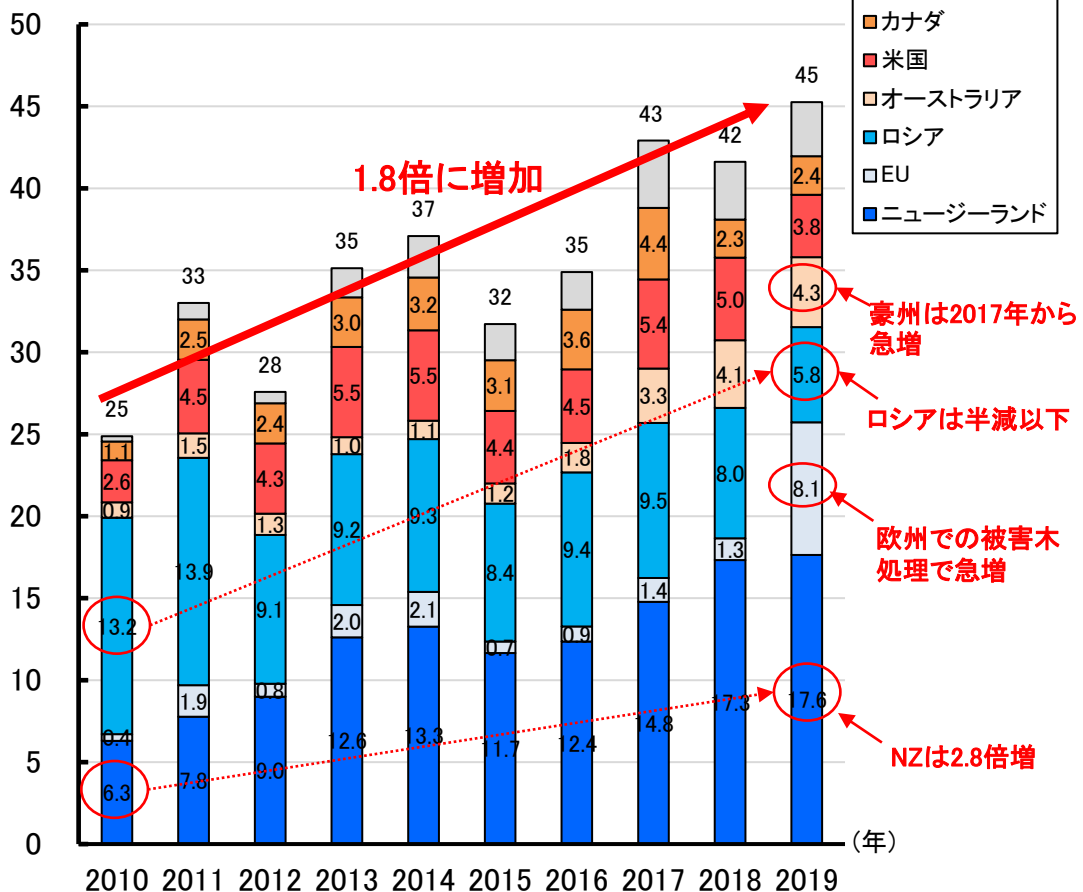
○EUにおける建設活動水準（2015年比）

2015年=100



資料: Eurostat development of construction productionを加工

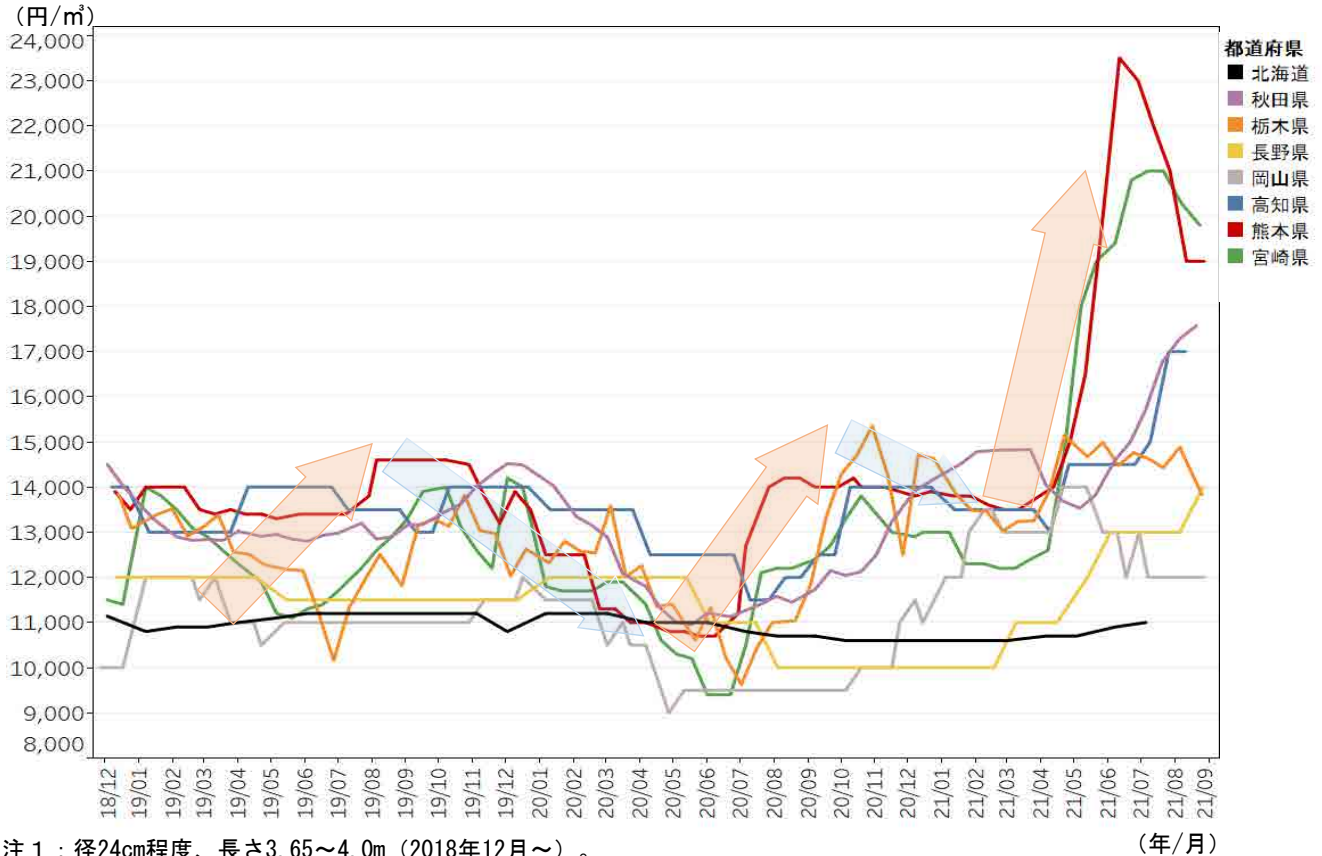
○中国の針葉樹丸太輸入量
(百万m³)



資料: FAO STAT (2010-2017)、UN COMTRADE (2018-2019)

スギ原木の主要市場価格

- 2021年に入ってから、例年であれば春から梅雨時期にかけて原木価格が下落する時期にもかかわらず、4月以降、上昇が見られる地域が多く見られる。九州地域では価格が高騰したが、直近では下落傾向も見られる。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比25%から62%増となっている。



注1：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注2：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

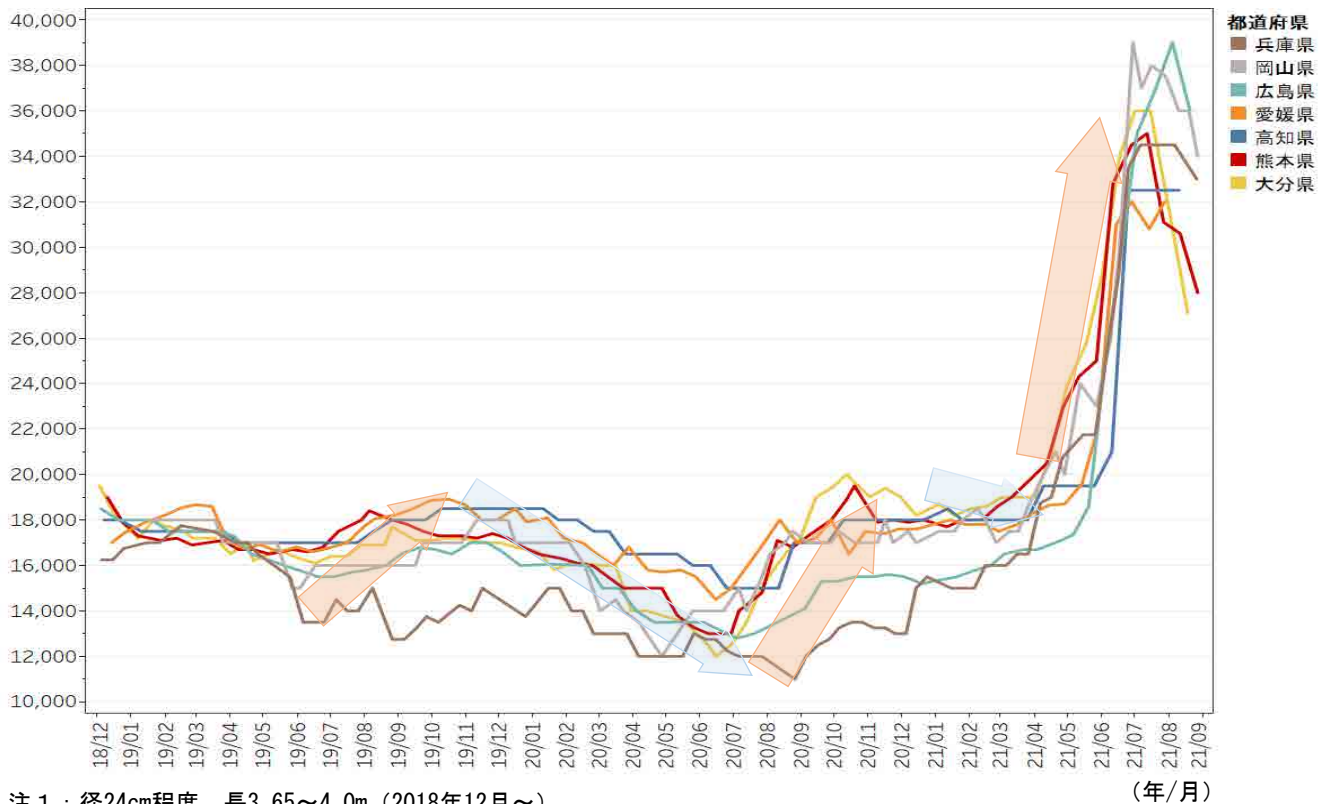
都道府県	2021年直近*	前年同期	前年同期比
■ 北海道	11,000	10,800	2%
■ 秋田県	17,570	11,450	53%
■ 栃木県	13,830	11,040	25%
■ 長野県	14,000	10,000	40%
■ 岡山県	12,000	9,500	26%
■ 高知県	17,000	12,000	42%
■ 熊本県	19,000	14,200	34%
■ 宮崎県	19,800	12,200	62%

※秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については8月、北海道については7月の値を使用。

ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、2020年6月頃の価格は例年以上に大きく低下したが、2021年に入ってから、例年であれば原木価格が下落する時期にもかかわらず、全ての地域で大きく上昇したが、直近では下落も見られる。
- 直近のヒノキ原木価格は、前年同期比58%から200%増となっている。

(円/m³)



注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

都道府県	2021年直近※	前年同期	前年同期比
兵庫県	33,000	11,000	200%
岡山県	34,000	17,500	94%
広島県	36,000	14,100	155%
愛媛県	32,000	15,000	113%
高知県	32,500	15,000	117%
熊本県	28,000	16,800	67%
大分県	27,000	17,200	58%

※兵庫県、岡山県、広島県、高知県、熊本県及び大分県については8月、愛媛県については7月の値を使用。

木材価格、製品価格①

- 輸入材の丸太及び製品価格は、北米における住宅着工戸数の増加、中国の木材需要拡大、世界的なコンテナ不足による運送コストの増大等により高騰。
- 国産材の代替需要が発生し、国産材の丸太及び製品価格も上昇。

年次	月	丸太										製材品 ¹										
		スギ		ヒノキ		カラマツ		米マツ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		米ツガ				
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		正角(防虫処理材)		
		14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	30cm上 6.0m上 (円/m ³)	対前 年比 (%)	18cm上 (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 4.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	
平成31年	1	14,100	100	19,000	109	12,100	105	41,900	145	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100			
	2	13,900	101	18,800	106	12,100	105	41,400	109	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100			
	3	13,700	101	18,600	101	12,400	108	34,000	87	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100			
	4	13,400	102	18,200	99	12,100	104	21,900	55	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100			
	令和元年	5	13,200	102	17,800	97	12,200	103	22,000	54	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100		
		6	12,900	100	17,400	97	12,300	104	21,600	51	11,300	104	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100		
		7	12,900	98	17,500	97	12,300	104	21,300	52	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100		
		8	13,200	99	17,400	96	12,600	107	20,900	55	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100		
		9	13,400	98	17,500	95	12,600	107	20,600	46	11,200	102	61,600	101	66,300	99	76,500	100	85,400	100		
		10	13,700	98	18,100	95	12,800	108	20,700	46	11,400	103	62,700	103	67,500	101	77,900	102	87,000	102		
		11	13,600	96	18,700	96	12,800	106	20,500	49	11,400	103	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102		
		12	13,500	96	18,700	96	12,800	106	20,600	48	11,400	101	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102		
令和2年	1	13,000	92	18,700	98	12,700	105	20,900	50	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,900	-	
	2	13,100	94	18,500	98	12,800	106	21,700	52	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,800	-	
	3	12,800	93	17,800	96	12,700	102	22,100	65	11,300	100	62,700	102	67,500	102	79,000	103	86,800	101	79,800	-	
	4	12,300	92	16,800	92	12,700	105	21,900	100	11,200	99	62,700	102	67,400	102	77,400	101	86,600	101	79,800	-	
	5	12,000	91	16,200	91	12,600	103	21,900	100	11,200	99	62,500	101	67,300	102	77,400	101	86,100	101	79,700	-	
	6	11,600	90	15,900	91	12,500	102	20,900	97	11,100	98	62,500	101	67,300	102	78,600	103	85,900	101	79,600	-	
	7	11,900	92	15,400	88	12,400	101	20,200	95	11,000	98	62,200	101	66,700	101	77,200	101	84,400	99	79,500	-	
	8	12,800	97	16,000	92	12,400	98	19,900	95	10,800	96	62,200	101	66,700	101	76,700	100	84,400	99	79,500	-	
	9	12,800	96	17,000	97	12,500	99	19,900	97	10,700	96	62,200	101	65,100	98	76,700	100	84,000	98	79,300	-	
	10	13,100	96	17,500	97	12,400	97	20,200	98	10,800	95	62,200	99	65,500	97	76,700	98	84,300	97	79,300	-	
	11	13,400	99	18,200	97	12,400	97	20,900	102	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,700	98	84,400	97	79,300	-	
	12	13,400	99	18,300	98	12,400	97	21,300	103	10,900	96	62,200	99	65,600	97	77,200	99	84,500	97	79,300	-	
令和3年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	22,700	109	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	-	
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	22,300	103	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	-	
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	23,400	106	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	-	
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	23,800	109	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	-	
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	25,000	114	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	-	
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	26,600	127	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	-	
	7	17,800	150	30,100	195	13,400	108	27,600	137	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	-	
令和元(平成31)年		13,500	99	18,100	98	12,400	105	25,600	64	11,300	103	61,900	101	66,700	100	76,900	100	85,900	100			
令和2年		12,700	94	17,200	95	12,500	101	21,000	82	11,100	98	62,400	101	66,700	100	77,600	101	85,500	100			
(H31年) R元年	第1四半期	13,900	101	18,800	105	12,200	106	39,100	110	11,300	104	61,600	101	66,800	101	76,500	100	85,700	100			
	第2四半期	13,200	102	17,800	98	12,200	104	21,800	53	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100			
	第3四半期	13,200	99	17,500	96	12,500	106	20,900	51	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100			
	第4四半期	13,600	96	18,500	96	12,800	107	20,600	48	11,400	102	62,700	102	67,500	101	78,000	102	87,000	102			
R2年	第1四半期	13,000	94	18,300	97	12,700	104	21,600	55	11,400	101	62,700	102	67,600	101	79,000	103	86,900	101	79,800	-	
	第2四半期	12,000	91	16,300	92	12,600	103	21,600	99	11,200	99	62,600	102	67,300	102	77,800	102	86,200	101	79,700	-	
	第3四半期	12,500	95	16,100	92	12,400	99	20,000	96	10,800	96	62,200	101	66,200	100	76,900	101	84,300	99	79,400	-	
	第4四半期	13,300	98	18,000	97	12,400	97	20,800	101	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,900	99	84,400	97	79,300	-	
R3年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	22,800	106	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	25,100	116	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119	

資料：農林水産省「木材価格」/「木材需給報告書」

注：1 丸太価格のうち、製材用丸太価格は製材工場、合板用丸太価格は合板工場における工場着購入価格である。

2 製材品価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 木材価格統計調査における調査対象都道府県が平成30年1月に変更されたことにより対前年同月比は算出できないことから、「-」と表示してある。

4 令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。(速報値は今後修正される可能性がある。)

木材価格、製品価格②

年次	月	製材品2		構造用集成材			チップ							
		米マツ		スギ集成管柱			チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		平角		国産、無化粧			針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
10.5-12.0×24cm 3.65-4m (円/m³)	対前年 比(%)	(円/m³)	(円/本)	対前年 比(%)	(円/m³)	対前年 比(%)	(円/m³)	対前年 比(%)	(円/m³)	対前年 比(%)	(円/m³)	対前年 比(%)		
平成31年 令和元年	1	66,600	103				6,200	103	9,200	101	6,450	102	11,180	102
	2	66,600	103				6,200	103	9,300	101	6,450	102	11,180	102
	3	66,600	102				6,200	102	9,300	101	6,450	101	11,180	102
	4	66,300	100				6,200	103	9,300	101	6,590	104	11,180	102
	5	66,300	100				6,300	105	9,300	101	6,590	104	11,180	102
	6	66,200	99				6,300	105	9,300	101	6,590	104	11,180	102
	7	66,000	99				6,300	105	9,300	101	6,590	104	11,180	102
	8	65,900	99				6,300	105	9,300	101	6,590	104	11,180	102
	9	64,800	97				6,300	103	9,300	101	6,590	103	11,180	101
	10	65,900	99				6,400	103	9,500	103	6,680	104	11,350	103
	11	65,700	99				6,500	105	9,500	103	6,730	104	11,350	102
	12	65,600	98				6,500	105	9,500	102	6,730	104	11,350	102
令和2年	1	64,700	97	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	103	6,770	105	11,410	102
	2	64,700	97	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	102	6,770	105	11,410	102
	3	64,700	97	63,492	2,100	-	6,500	105	9,400	101	6,770	105	11,410	102
	4	64,700	98	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	102	6,770	103	11,410	102
	5	64,600	97	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	6,770	103	11,410	102
	6	62,800	95	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	6,730	102	11,410	102
	7	62,200	94	63,492	2,100	-	6,500	103	9,500	102	6,730	102	11,410	102
	8	62,100	94	63,492	2,100	-	6,500	103	9,500	102	6,730	102	11,410	102
	9	62,100	96	63,492	2,100	-	6,500	103	9,500	102	6,730	102	11,410	102
	10	62,300	95	60,469	2,000	-	6,500	102	9,500	100	6,730	101	11,350	100
	11	62,400	95	60,469	2,000	-	6,500	100	9,500	100	6,730	100	11,290	99
	12	63,300	96	60,469	2,000	-	6,500	100	9,500	100	6,730	100	11,290	99
令和3年	1	65,200	101	63,492	2,100	-	6,500	100	9,500	100	6,730	99	11,410	100
	2	66,500	103	60,469	2,000	-	6,500	100	9,500	100	6,640	98	11,350	99
	3	70,100	108	60,469	2,000	-	6,500	100	9,500	101	6,640	98	11,350	99
	4	78,100	121	63,492	2,100	-	6,500	100	9,500	100	6,640	98	11,350	99
	5	83,100	129	66,515	2,200	-	6,700	103	9,500	100	6,640	98	11,350	99
	6	94,800	151	72,562	2,400	-	6,700	103	9,500	100	6,680	99	11,350	99
	7	99,000	159	75,586	2,500	-	6,700	103	9,500	100	6,680	99	11,350	99
令和元(平成31)年		66,000	100				6,300	103	9,300	101	6,590	103	11,220	102
令和2年		66,000	100				6,500	103	9,500	102	6,750	102	11,390	102
(H31年) R元年	第1四半期	66,600	103				6,200	103	9,300	101	6,450	102	11,180	102
	第2四半期	66,300	100				6,300	105	9,300	101	6,590	104	11,180	102
	第3四半期	65,600	98				6,300	105	9,300	101	6,590	103	11,180	101
	第4四半期	65,700	99				6,500	105	9,500	103	6,710	104	11,350	102
R2年	第1四半期	64,700	97	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	102	6,770	105	11,410	102
	第2四半期	64,000	97	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	6,760	103	11,410	102
	第3四半期	62,100	95	63,492	2,100	-	6,500	103	9,500	102	6,730	102	11,410	102
	第4四半期	62,700	95	60,469	2,000	-	6,500	100	9,500	100	6,730	100	11,310	100
R3年	第1四半期	67,300	104	60,469	2,000	100	6,500	100	9,500	100	6,670	99	11,370	100
	第2四半期	85,300	133	66,515	2,200	110	6,600	102	9,500	100	6,650	98	11,350	99

資料：農林水産省「木材価格」「木材需給報告書」

- 注：1 製材品価格(米マツ平角)は、木材市売市場にあたってはセリ又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
 2 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
 3 木材価格統計調査における調査対象都道府県が平成30年1月に変更されたことにより対前年同月比は算出できないことから、「-」と表示してある。
 4 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。
 5 木材チップの価格は1t当たりの価格をm3当たりの価格に換算したものである。(換算係数は、針葉樹2.2m3/t、広葉樹1.7m3/tであり、一の位を四捨五入している。)
 6 令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。(速報値は今後修正される可能性がある。)

木材需要の動向（令和元年）

- 令和元年（2019年）における木材の総需要量は、81,905千 m^3 で前年に比べ573千 m^3 （0.7%）減少した。用材は、71,269千 m^3 で前年に比べ1,915千 m^3 （2.6%）減少。しいたけ原木も251千 m^3 で前年に比べ23千 m^3 （8.4%）減少した。燃料材は、10,386千 m^3 で前年に比べ1,366千 m^3 （15.1%）増加した。
- 国内消費量は、79,190千 m^3 で前年に比べ453千 m^3 （0.6%）減少した。この中で、前年に比べて増加したのは、その他用材の2千 m^3 （0.1%）、燃料材の1,366千 m^3 （15.2%）であり、その他は減少した。
- 輸出量は、2,715千 m^3 で前年に比べ121千 m^3 （4.3%）減少した。この中で、前年に比べて増加したのは、製材品の2千 m^3 （0.9%）、その他（用材）の3千 m^3 （13.6%）である。

木材需要の動向

区 分		令和元年		平成30年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)			
総 需 要 量	用 材	製材用材	25,270	30.9	25,708	31.2	△ 438	△ 1.7
		パルプ・チップ用材	31,061	37.9	32,009	38.8	△ 948	△ 3.0
		合板用材	10,474	12.8	11,003	13.3	△ 529	△ 4.8
		その他用材	4,464	5.5	4,465	5.4	△ 1	△ 0.0
		小計	71,269	87.0	73,184	88.7	△ 1,915	△ 2.6
	しいたけ原木	251	0.3	274	0.3	△ 23	△ 8.4	
	燃料材	10,386	12.7	9,020	10.9	1,366	15.1	
	計	81,905	100.0	82,478	100.0	△ 573	△ 0.7	
国 内 消 費	用 材	製材用材	25,037	31.6	25,477	32.0	△ 440	△ 1.7
		パルプ・チップ用材	29,932	37.8	30,777	38.6	△ 845	△ 2.7
		合板用材	10,280	13.0	10,791	13.5	△ 511	△ 4.7
		その他用材	3,309	4.2	3,307	4.2	2	0.1
		小計	68,558	86.6	70,353	88.3	△ 1,795	△ 2.6
	しいたけ原木	251	0.3	274	0.3	△ 23	△ 8.4	
	燃料材	10,382	13.1	9,016	11.3	1,366	15.2	
	計	79,190	100.0	79,643	100.0	△ 453	△ 0.6	
輸 出	用 材	丸太	1,130	41.6	1,136	40.1	△ 6	△ 0.5
		製材品	232	8.5	230	8.1	2	0.9
		パルプ・チップ	1,129	41.6	1,232	43.4	△ 103	△ 8.4
		合板等	194	7.2	211	7.4	△ 17	△ 8.1
		その他	25	0.9	22	0.8	3	13.6
	小計	2,711	99.8	2,831	99.9	△ 120	△ 4.2	
	燃料材	4	0.2	4	0.1	0	0.0	
	計	2,715	100.0	2,836	100.0	△ 121	△ 4.3	

- 注：1）輸出の用材の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。
 2）輸出の用材のその他は、改良木材、再生木材、加工材、枕木、のこくずである。
 3）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。
 4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材供給の動向（令和元年）

- 令和元年（2019年）における木材の総供給量は、81,905千 m^3 で前年に比べ573千 m^3 （0.7%）減少した。用材は、71,269千 m^3 となり、前年に比べ1,915千 m^3 （2.6%）減少。しいたけ原木も251千 m^3 で前年に比べ23千 m^3 （8.4%）減少した。燃料材は10,386千 m^3 となり前年に比べ1,366千 m^3 （15.1%）増加した。
- 国内生産量は、30,988千 m^3 で前年に比べ787千 m^3 （2.6%）増加した。この中で、前年に比べて増加したのは、丸太の236千 m^3 （1.0%）、燃料材の684千 m^3 （10.9%）であり、その他は減少した。
- 輸入量は、50,917千 m^3 で前年に比べ1,360千 m^3 （2.6%）減少した。この中で、前年に比べ増加量が最も大きかったものは、燃料材の682千 m^3 （24.6%）である。

木材供給の動向

区 分		令和元年		平成30年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 増減率 (%)		
		数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)				
総供給量	用材	丸 太	27,804	33.9	27,990	33.9	△ 186	△ 0.7	
		林地残材	119	0.1	230	0.3	△ 111	△ 48.3	
		輸入木材製品	43,346	52.9	44,964	54.5	△ 1,618	△ 3.6	
		小 計	71,269	87.0	73,184	88.7	△ 1,915	△ 2.6	
	しいたけ原木	251	0.3	274	0.3	△ 23	△ 8.4		
	燃 料 材	10,386	12.7	9,020	10.9	1,366	15.1		
	計	81,905	100.0	82,478	100.0	△ 573	△ 0.7		
国内生産	用材	丸 太	23,686	76.4	23,450	77.6	236	1.0	
		林地残材	119	0.4	230	0.8	△ 111	△ 48.3	
		小 計	23,805	76.8	23,680	78.4	125	0.5	
	しいたけ原木	251	0.8	274	0.9	△ 23	△ 8.4		
	燃 料 材	6,932	22.4	6,248	20.7	684	10.9		
計	30,988	100.0	30,201	100.0	787	2.6			
輸 入	用材	木材製品	丸 太	4,118	8.1	4,541	8.7	△ 423	△ 9.3
			製材品	8,996	17.7	9,418	18.0	△ 422	△ 4.5
			木材パルプ	5,580	11.0	5,548	10.6	32	0.6
			木材チップ	20,829	40.9	21,371	40.9	△ 542	△ 2.5
			合板等	5,026	9.9	5,716	10.9	△ 690	△ 12.1
			その他	2,915	5.7	2,912	5.6	3	0.1
			うち構造用集成材	1,397	2.7	1,355	2.6	42	3.1
		細 計	43,346	85.1	44,964	86.0	△ 1,618	△ 3.6	
	小 計	47,464	93.2	49,505	94.7	△ 2,041	△ 4.1		
	燃 料 材	3,454	6.8	2,772	5.3	682	24.6		
計	50,917	100.0	52,277	100.0	△ 1,360	△ 2.6			

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の用材のその他は、改良木材、再生木材、集成材、セルラーウッドパネル、加工材、枕木、のこくずである。

4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材自給率の動向（令和元年）

- 令和元年（2019年）の用材の自給率は、33.4%で前年に比べて1.0ポイント上昇した。これは、平成23年から9年連続の上昇となる。
- 用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、37.8%で前年に比べて1.2ポイント上昇した。用材同様、平成23年から9年連続の上昇となった。

【参考】木材自給率（%）＝国内生産量÷総需要量（※）×100
 ※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木材自給率の動向

区 分		令和元年	平成30年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m ³)	数量 (千m ³)			
用 材	製 材 用 材	国 内 生 産	12,875	12,563	312	2.5
		輸 入	12,395	13,145	△ 750	△ 5.7
		総 需 要 量	25,270	25,708	△ 438	△ 1.7
		自 給 率	51.0%	48.9%	2.1ポ イ ント	
	パ ル プ ・ チ ッ プ 用 材	国 内 生 産	4,651	5,089	△ 438	△ 8.6
		輸 入	26,410	26,920	△ 510	△ 1.9
		総 需 要 量	31,061	32,009	△ 948	△ 3.0
		自 給 率	15.0%	15.9%	△ 0.9ポ イ ント	
	合 板 用 材	国 内 生 産	4,745	4,492	253	5.6
		輸 入	5,729	6,511	△ 782	△ 12.0
		総 需 要 量	10,474	11,003	△ 529	△ 4.8
		自 給 率	45.3%	40.8%	4.5ポ イ ント	
	そ の 他 用 材	国 内 生 産	1,534	1,536	△ 2	△ 0.1
		輸 入	2,931	2,930	1	0.0
		総 需 要 量	4,464	4,465	△ 1	△ 0.0
		自 給 率	34.4%	34.4%	0.0ポ イ ント	
計	国 内 生 産	23,805	23,680	125	0.5	
	輸 入	47,464	49,505	△ 2,041	△ 4.1	
	総 需 要 量	71,269	73,184	△ 1,915	△ 2.6	
	自 給 率	33.4%	32.4%	1.0ポ イ ント		
しいたけ 原 木	国 内 生 産	251	274	△ 23	△ 8.4	
	輸 入	-	-	-	-	
	総 需 要 量	251	274	△ 23	△ 8.4	
	自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポ イ ント		
燃料材	国 内 生 産	6,932	6,248	684	10.9	
	輸 入	3,454	2,772	682	24.6	
	総 需 要 量	10,386	9,020	1,366	15.1	
	自 給 率	66.7%	69.3%	△ 2.6ポ イ ント		
総 数	国 内 生 産	30,988	30,201	787	2.6	
	輸 入	50,917	52,277	△ 1,360	△ 2.6	
	総 需 要 量	81,905	82,478	△ 573	△ 0.7	
	自 給 率	37.8%	36.6%	1.2ポ イ ント		

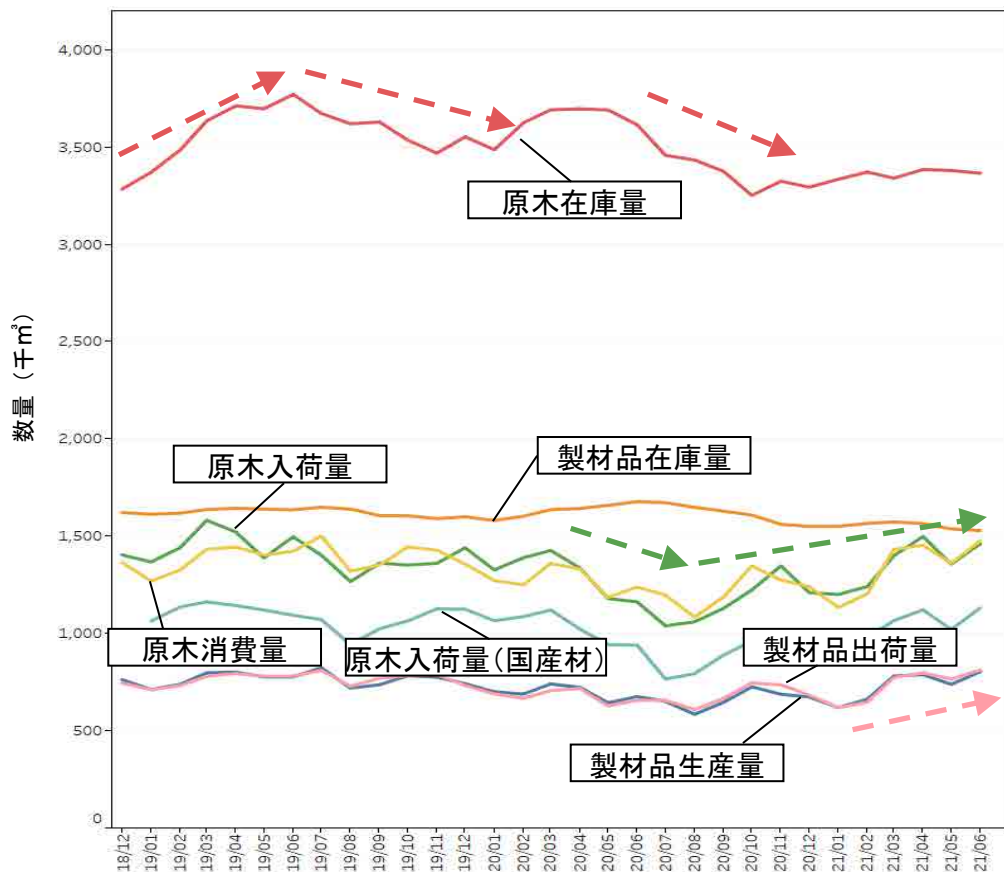
注：1）木材自給率の算出は次式による。

$$\text{自給率} = \text{国内生産量} \div \text{総需要量} \times 100$$

2）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

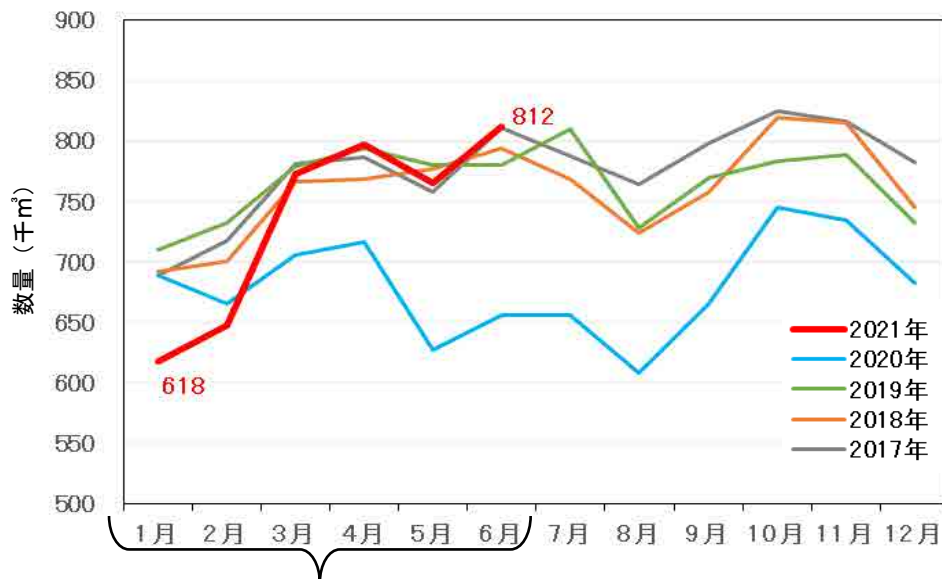
- 製材品の生産量及び出荷量は、2021年1月から増加傾向。5月は減少したものの6月は増加に転じ、コロナ禍前の水準となっている。
- 原木の入荷量及び消費量においても、2021年1月から増加傾向。5月は減少したものの6月は増加に転じた。



資料：農林水産省「製材統計」

(年/月)

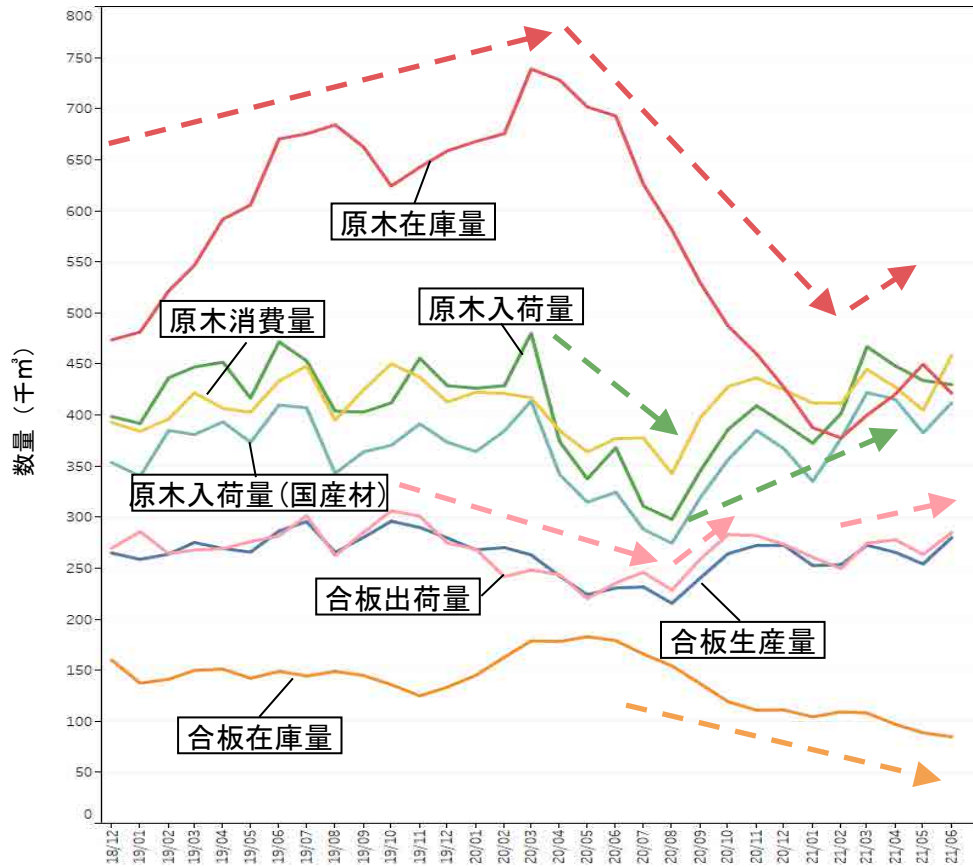
○製材品出荷量の月別推移（全国）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～6月出荷量 伸び率	18%	15%	10%	-5%	31%
1～6月出荷量 合計(千m3)	4,544	4,498	4,575	4,061	4,412

合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

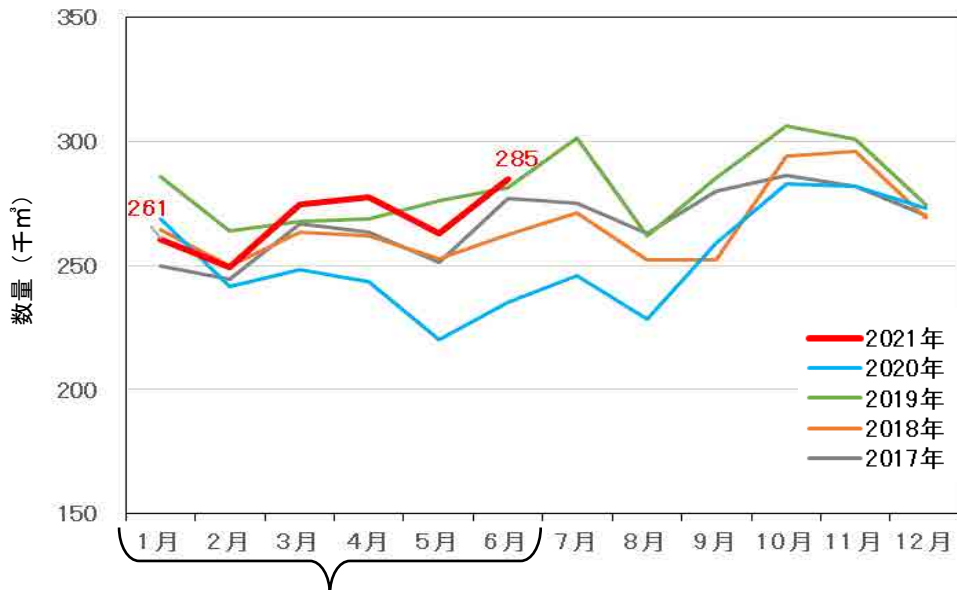
- 合板の生産量及び出荷量は、2021年2月から増加傾向。5月は減少したものの6月は増加に転じ、コロナ禍前の水準となっている。
- 原木の入荷量・消費量は、2021年5月に減少したが、原木消費量は6月は増加した。



資料：農林水産省「合板統計」

(年/月)

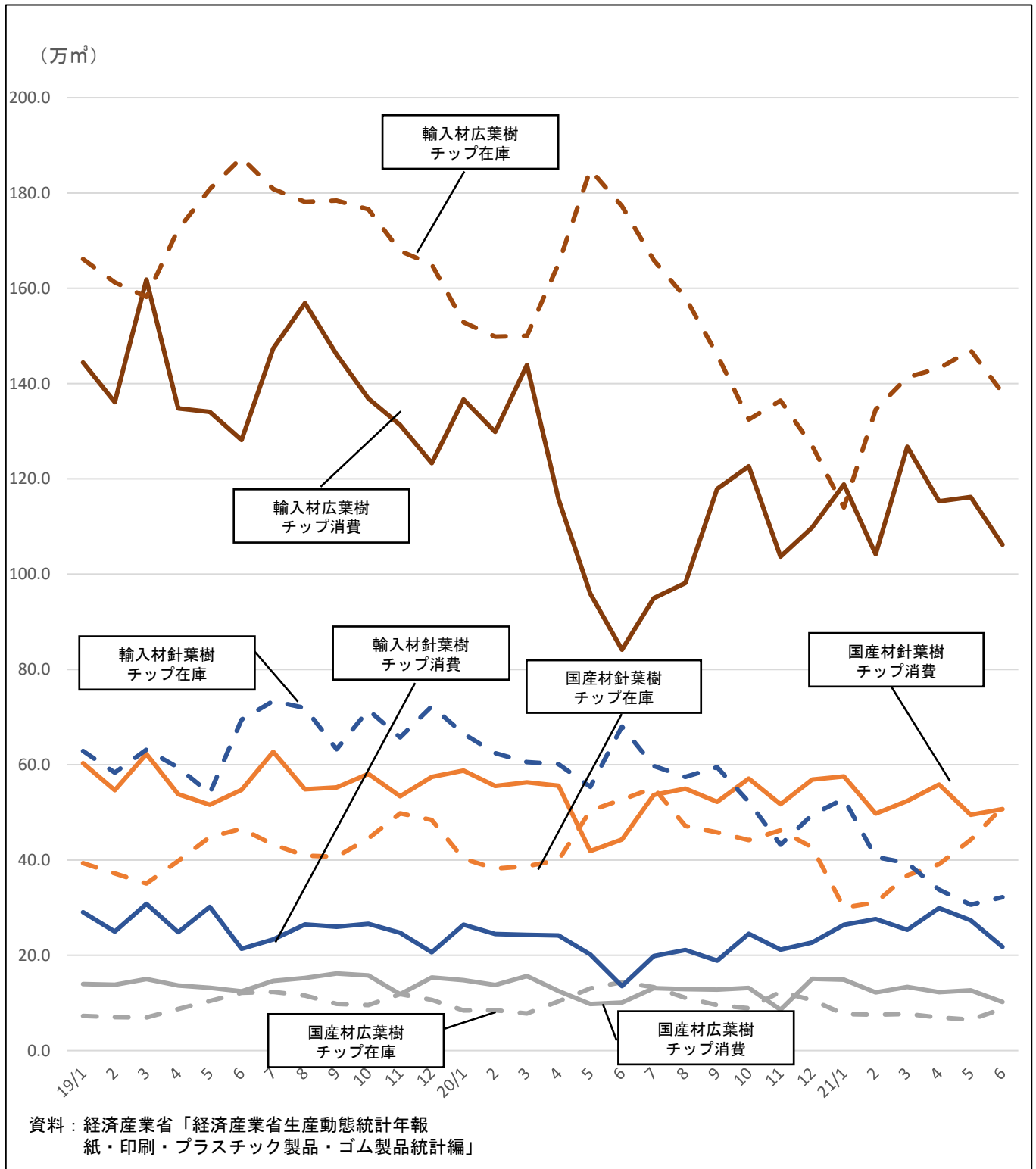
○合板出荷量の月別推移（全国）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～6月出荷量 伸び率	11%	-1%	-1%	-12%	9%
1～6月出荷量 合計(千m3)	1,553	1,555	1,644	1,457	1,610

チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向

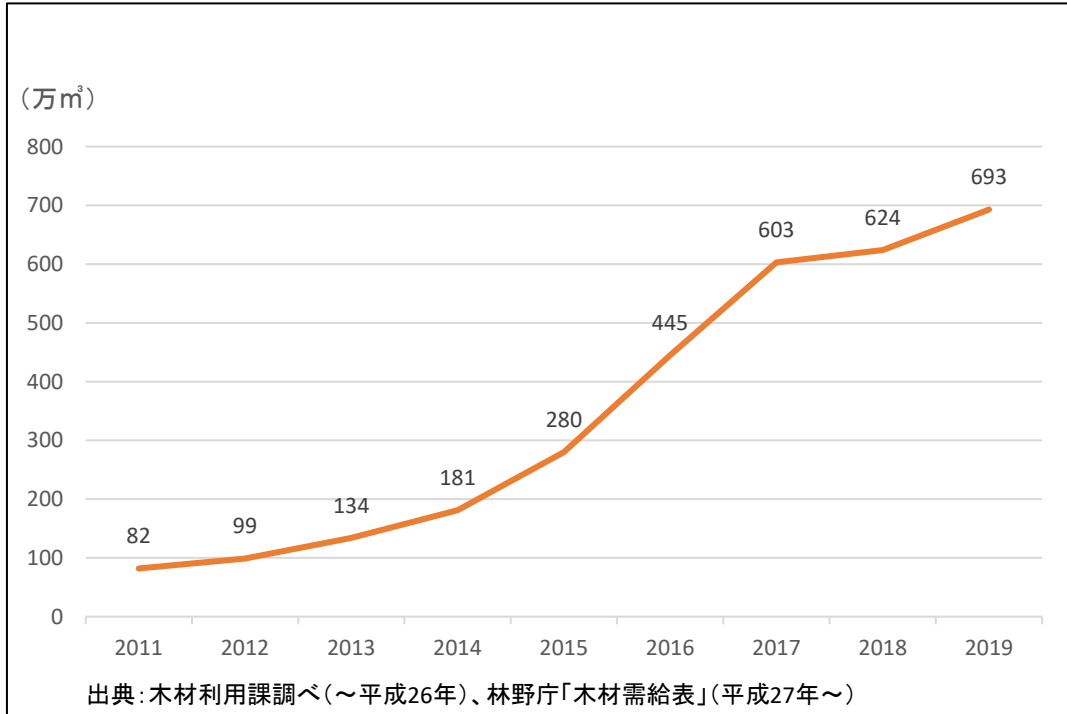
- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。



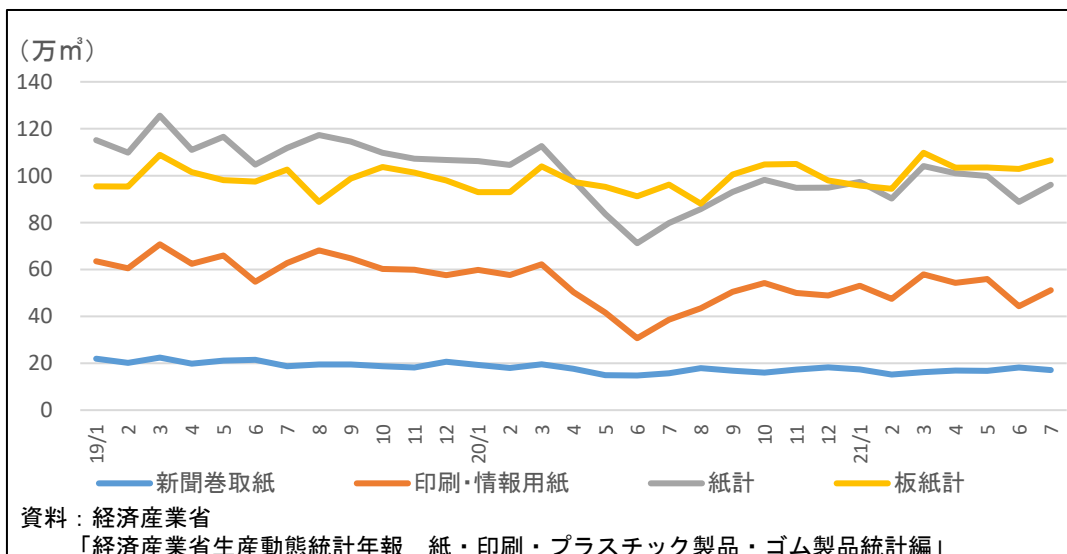
木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高

- 木質バイオマス発電向け燃料は、増加傾向が続いている。

○間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量



○紙品種別生産高

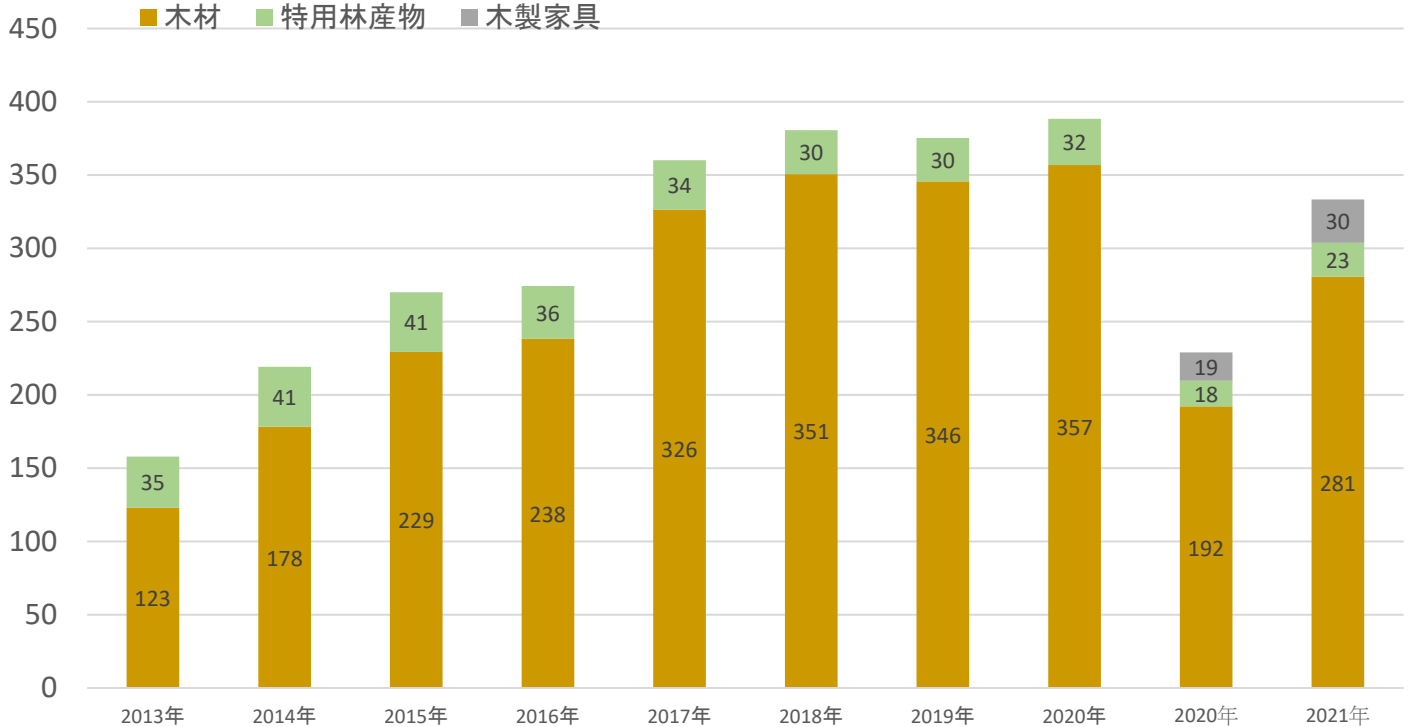


林産物輸出額

- 7月の林産物の輸出額は52億円（前年同月比140%）となった。内訳としては木材が44.5億円（同137%）、特用林産物が3.4億円（同157%）、木製家具が4.3億円（同161%）となった。
- 7月までの累計は、333億円（対前年同期比146%）となった。

○林産物輸出の推移

(億円)



資料：財務省貿易統計

※特用林産物のうち、きのこ類は、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、きのこ類以外は、ロジン、植物性ろう等を計上。

※定義見直しにより、2021年1月より品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を林産物に追加。

※月別の累計は追加品目を含む値

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(億円)

	2020年				2021年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	24	19	3	2	31	131%	122%	25	3	3
2月	31	24	3	4	41	135%	114%	34	4	3
3月	32	26	3	3	51	159%	123%	42	4	5
4月	37	31	3	3	55	150%	134%	47	3	5
5月	31	27	2	2	49	156%	145%	42	3	4
6月	37	33	2	3	54	144%	137%	46	3	5
7月	37	32	2	3	52	140%	162%	45	3	4
8月	34	29	2	3						
9月	37	31	3	4						
10月	46	37	3	5						
11月	40	32	4	4						
12月	44	36	3	5						
1～7月累計	229	192	18	19	333	146%	134%	281	23	30

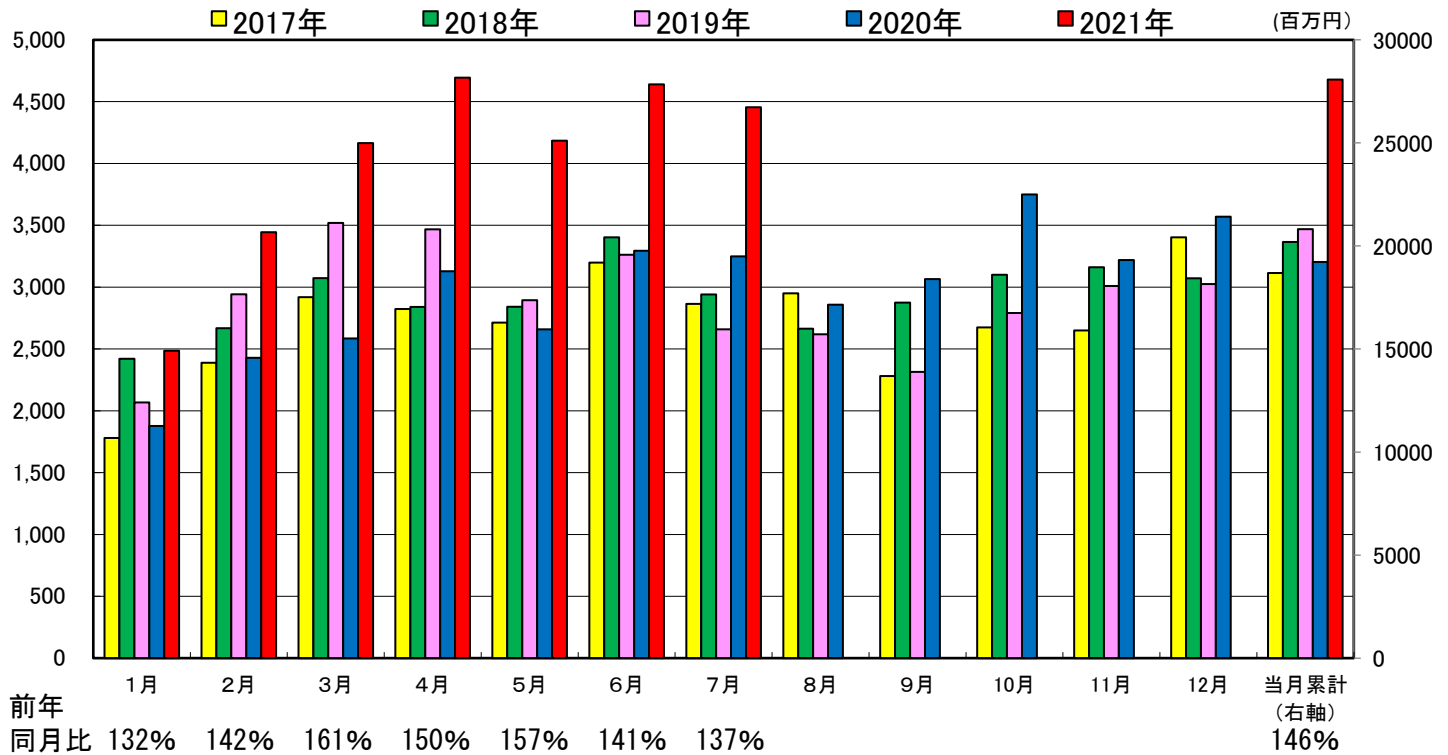
資料：財務省貿易統計

※数値は追加品目を含む値

木材輸出額

- 令和3年7月の輸出額は44.5億円となり、前年同月比137%となった。1～7月までの累計は281億円となり、前年同期比146%となった。特に中国（丸太）、米国（製材）の需要が旺盛。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（累計：主な国別・品目別）

輸出先	単月(7月)					累計(1～7月)				
	輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円) 対前年比(%)			輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円) 対前年比(%)		
	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板
中国	2,173	138%	1,725 145%	124 71%	62 155%	13,795	152%	11,001 158%	914 99%	332 221%
韓国	422	147%	260 136%	63 152%	6 -	2,258	122%	1,323 113%	401 110%	25 201%
台湾	171	119%	85 129%	53 300%	2 34%	1,428	111%	852 126%	350 112%	17 147%
米国	450	142%	0 -	308 138%	0 -	3,211	189%	0 -	2,345 223%	7 1214%
フィリピン	957	150%	0 -	247 200%	629 126%	5,302	155%	0 -	1,172 200%	3,861 145%
その他	282	99%	43 164%	38 81%	4 136%	2,073	111%	320 126%	265 96%	51 157%
総計	4,455	137%	2,113 144%	832 133%	703 128%	28,067	146%	13,496 149%	5,446 155%	4,293 150%

資料：財務省貿易統計
 ※貿易統計の第44類を集計
 ※四捨五入により、数値が合わないことがある

木材輸入額

- 2021年7月の木材輸入額は、前月比+7%、前年同月比+31%の1,061億円となった。国別に、前月比で見ると、EUが+7%、中国が+1%、ベトナムが+17%、インドネシアが+26%、カナダが+21%増加する一方、フィリピンが▲1%、米国の▲15%減少した。
- 前年同月比で見ると、中国が+28%、ベトナムが+58%、フィリピンが+21%、インドネシアが+39%、米国の+9%、カナダが+201%増加する一方、EUが▲4%減少した。

(単位:億円)

年 国名	2020年 (1月～ 12月)	月別金額					累計金額			
		2021年 6月	2021年 7月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～7月	2021年 1～7月	前年 同期比	2019年 同期比
世界計	9,430	995	1,061	+ 7%	+ 31%	+ 4%	5,827	6,373	+ 9%	▲ 10%
E U	1,328	129	137	+ 7%	▲ 4%	+ 5%	828	780	▲ 6%	▲ 12%
(フィンランド)	416	41	42	+ 2%	▲ 12%	+ 6%	258	247	▲ 4%	▲ 10%
(スウェーデン)	255	22	32	+ 45%	+ 17%	+ 42%	169	168	▲ 1%	▲ 1%
中 国	1,317	139	140	+ 1%	+ 28%	+ 5%	792	860	+ 9%	▲ 4%
ベトナム	978	96	112	+ 17%	+ 58%	+ 18%	579	688	+ 19%	+ 10%
フィリピン	853	97	96	▲ 1%	+ 21%	▲ 5%	422	623	+ 48%	▲ 2%
インドネシア	845	73	92	+ 26%	+ 39%	+ 18%	553	529	▲ 4%	▲ 11%
米 国	766	79	67	▲ 15%	+ 9%	▲ 14%	498	504	+ 1%	▲ 6%
カナダ	725	135	163	+ 21%	+ 201%	+ 61%	436	745	+ 71%	+ 16%
マレーシア	661	60	68	+ 13%	+ 34%	▲ 5%	421	441	+ 5%	▲ 19%
ロシア	448	44	49	+ 11%	+ 32%	▲ 11%	316	273	▲ 14%	▲ 22%
その他	1,508	144	138	▲ 5%	+ 1%	▲ 23%	982	930	▲ 5%	▲ 32%
我が国の総輸入額	678,371	68,431	69,166	+ 1%	▲ 22%	+ 0%	400,183	457,984	+ 14%	▲ 1%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.39%	1.45%	1.53%				1.46%	1.39%		

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

注2：EUに英国は含まない。

注3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

木材輸入量（丸太）

- 2021年7月の丸太輸入量は、前月比▲13%、前年同月比+15%の22万m³となった。国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア69%）が▲25%、ニュージーランド（同12%）が▲54%減少する一方、カナダ（同12%）が+24%増加した。
- 前年同月比で見ると、米国が▲28%減少する一方、ニュージーランドが+8%、カナダが+592%増加した。

（単位：千m³）

材種 国名	年 2020年 (1月～ 12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 6月	2021年 7月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～7月	2021年 1～7月	前年 同期比	2019年 同期比
合計	[100%] 2,301	[100%] 249	[100%] 215	▲13%	+15%	▲8%	[100%] 1,453	[100%] 1,589	+9%	▲14%
米材	[80%] 1,852	[81%] 203	[84%] 182	▲10%	+16%	+9%	[80%] 1,163	[86%] 1,372	+18%	▲6%
米国	[69%] 1,579	[57%] 141	[49%] 105	▲25%	▲28%	▲10%	[70%] 1,022	[57%] 898	▲12%	▲4%
カナダ	[12%] 272	[25%] 62	[36%] 77	+24%	+592%	+53%	[10%] 141	[30%] 474	+237%	▲9%
南洋材	[4%] 82	[0%] 0	[4%] 8	+6,425%	▲33%	皆増	[4%] 57	[1%] 14	▲75%	▲82%
インドネシア	[0%] 0	-	-	-	-	-	[0%] 0	-	▲100%	▲100%
マレーシア	[1%] 28	[0%] 0	[4%] 8	+6,425%	+5%	皆増	[2%] 23	[1%] 8	▲64%	▲53%
パプアニューギニア	[2%] 53	-	-	-	▲100%	-	[2%] 34	[0%] 6	▲83%	▲90%
北洋材	[3%] 62	[0%] 1	[3%] 5	+526%	皆増	▲76%	[4%] 53	[2%] 25	▲53%	▲72%
ニュージーランド材	[12%] 284	[17%] 43	[9%] 20	▲54%	+8%	▲53%	[11%] 164	[10%] 163	▲0%	▲20%
欧州材	[1%] 14	[1%] 2	[0%] 1	▲69%	+1%	▲66%	[1%] 12	[1%] 10	▲13%	▲35%
EU計	-	[1%] 2	[0%] 1	▲70%	▲3%	▲67%	[1%] 12	[1%] 10	▲13%	▲35%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	▲41%	▲13%	▲49%	[0%] 1	[0%] 1	▲4%	▲56%
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	+190%	+165%	+463%	[0%] 1	[0%] 1	▲31%	▲22%
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	▲39%	+36%	+392%	[0%] 2	[0%] 2	▲33%	+53%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7カ国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

木材輸入量（製材）

- 2021年7月の製材輸入量は、前月比+6%、前年同月比▲8%の45万m³となった。国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア47%）が+5%、カナダ（同24%）が+5%増加する一方、ロシア（同16%）が▲3%減少した。カナダの前月比増は6ヶ月連続、EUの前月比増は4ヶ月連続のこと。
- 前年同月比で見ると、EUが▲29%、ロシアが▲16%が減少する一方、カナダが+34%増加した。

（単位：千m³）

材種 国名	年 2020年 (1月～ 12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 6月	2021年 7月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～7月	2021年 1～7月	前年 同期比	2019年 同期比
合計	[100%] 4,933	[100%] 426	[100%] 451	+ 6%	▲ 8%	▲ 14%	[100%] 3,194	[100%] 2,685	▲ 16%	▲ 21%
米材	[28%] 1,372	[31%] 131	[30%] 137	+ 4%	+ 22%	▲ 21%	[27%] 861	[30%] 804	▲ 7%	▲ 19%
米国	[4%] 192	[2%] 10	[2%] 10	+ 2%	▲ 42%	▲ 50%	[4%] 132	[3%] 78	▲ 41%	▲ 46%
カナダ	[24%] 1,180	[28%] 121	[28%] 126	+ 5%	+ 34%	▲ 17%	[23%] 730	[27%] 727	▲ 0%	▲ 15%
南洋材	[1%] 60	[1%] 4	[1%] 4	+ 9%	▲ 29%	▲ 38%	[1%] 38	[1%] 33	▲ 14%	▲ 28%
インドネシア	[0%] 20	[0%] 1	[0%] 2	+ 72%	+ 18%	▲ 2%	[0%] 13	[0%] 11	▲ 15%	▲ 17%
マレーシア	[1%] 37	[1%] 3	[0%] 2	▲ 16%	▲ 47%	▲ 54%	[1%] 23	[1%] 20	▲ 14%	▲ 34%
パプアニューギニア	[0%] 0	[0%] 0	-	▲100%	-	-	[0%] 0	[0%] 0	+ 194%	皆増
北洋材	[16%] 812	[16%] 68	[15%] 65	▲ 3%	▲ 16%	▲ 26%	[18%] 561	[16%] 424	▲ 24%	▲ 23%
ニュージーランド材	[1%] 51	[1%] 3	[1%] 5	+ 66%	+ 7%	▲ 16%	[1%] 29	[1%] 30	+ 6%	▲ 23%
チリ材	[4%] 210	[6%] 27	[3%] 12	▲ 53%	▲ 22%	+ 203%	[4%] 132	[4%] 101	▲ 23%	▲ 45%
欧州材	[48%] 2,384	[44%] 188	[49%] 221	+ 17%	▲ 19%	▲ 8%	[48%] 1,546	[47%] 1,262	▲ 18%	▲ 19%
EU 計	[47%] 2,339	[42%] 181	[42%] 190	+ 5%	▲ 29%	▲ 19%	[47%] 1,517	[45%] 1,205	▲ 21%	▲ 22%
(スウェーデン)	[16%] 787	[12%] 53	[16%] 71	+ 34%	▲ 20%	+ 12%	[16%] 527	[16%] 422	▲ 20%	▲ 4%
(フィンランド)	[16%] 786	[14%] 61	[13%] 58	▲ 5%	▲ 35%	▲ 27%	[15%] 492	[15%] 402	▲ 18%	▲ 24%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	+ 2,740%	+ 30%	+ 33%	[0%] 1	[0%] 1	+ 18%	▲ 47%
中国	[1%] 32	[1%] 5	[1%] 5	+ 2%	+ 41%	+ 58%	[1%] 18	[1%] 24	+ 32%	+ 26%
その他	[0%] 11	[0%] 1	[0%] 1	+ 45%	+ 6%	▲ 37%	[0%] 8	[0%] 5	▲ 36%	▲ 48%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7カ国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2021年7月の合板輸入量は、前月比+10%、前年同月比+39%の16万m³となった。国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア42%）が+20%、インドネシア（同42%）が+1%増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが+86%、インドネシアが+4%増加した。

（単位：千m³）

年 国名	2020年 (1月～ 12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 6月	2021年 7月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～7月	2021年 1～7月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 1,660	[100%] 146	[100%] 160	+ 10%	+ 39%	+ 9%	[100%] 1,062	[100%] 1,063	+ 0%	▲ 6%
マレーシア	[42%] 704	[43%] 62	[46%] 74	+ 20%	+ 86%	+ 14%	[41%] 440	[46%] 494	+ 12%	▲ 7%
インドネシア	[42%] 702	[39%] 57	[36%] 57	+ 1%	+ 4%	▲ 3%	[43%] 462	[37%] 394	▲ 15%	▲ 11%
ベトナム	[8%] 134	[11%] 16	[10%] 16	+ 5%	+ 85%	+ 44%	[8%] 85	[10%] 102	+ 21%	+ 36%
中国	[6%] 106	[7%] 10	[7%] 12	+ 12%	+ 16%	+ 21%	[6%] 67	[6%] 65	▲ 4%	▲ 15%
EU	[0%] 6	[1%] 1	[0%] 0	▲ 46%	▲ 19%	▲ 42%	[0%] 3	[0%] 4	+ 16%	▲ 15%
その他	[1%] 9	[0%] 0	[0%] 0	▲ 12%	▲ 48%	▲ 73%	[0%] 5	[0%] 4	▲ 11%	▲ 54%

- 注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。
 2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
 3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
 4：EUに英国は含まない。

- 2021年7月の木材チップ輸入量は、前月比+0%、前年同月比+29%の92万トンとなった。国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア35%）が+14%、オーストラリア（同16%）が+30%増加する一方、チリ（同15%）が▲10%減少した。
- 前年同月比で見ても、ベトナムが+86%、オーストラリアが+11%増加する一方、チリが▲24%減少した。

（単位：千トン）

年 国名	2020年 (1月～ 12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 6月	2021年 7月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～7月	2021年 1～7月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 9,491	[100%] 915	[100%] 915	+ 0%	+ 29%	▲ 15%	5,783	6,479	+ 12%	▲ 12%
ベトナム	[35%] 3,306	[35%] 321	[40%] 368	+ 14%	+ 86%	+ 6%	1,850	2,387	+ 29%	+ 11%
オーストラリア	[16%] 1,476	[11%] 104	[15%] 135	+ 30%	+ 11%	▲ 13%	970	1,218	+ 26%	▲ 12%
チリ	[15%] 1,419	[17%] 151	[15%] 136	▲ 10%	▲ 24%	▲ 26%	1,022	704	▲ 31%	▲ 33%
南アフリカ共和国	[8%] 739	[10%] 89	[10%] 96	+ 8%	+ 73%	▲ 12%	455	559	+ 23%	▲ 31%
米国	[7%] 631	[7%] 60	[6%] 51	▲ 14%	+ 143%	▲ 42%	362	468	+ 29%	+ 4%
その他	[20%] 1,920	[21%] 190	[14%] 130	▲ 32%	▲ 4%	▲ 31%	1,124	1,144	+ 2%	▲ 22%

- 注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。
 2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
 3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

木材輸入量（集成材）

- 2021年7月の集成材輸入量は、前月比+1%、前年同月比▲15%の8.8万m³となった。輸入量の前月比増は、5ヶ月連続のこと。構造用集成材に限ると、前月比▲2%、前年同月比▲20%の7.6万m³となった。国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア82%）が▲0%、中国（同6%）が▲6%減少した。EUの前月比減は、5ヶ月ぶりのこと。EUの国別内訳では、オーストリア（同13%）が+16%増加する一方、フィンランド（同36%）が▲3%、ルーマニア（同19%）が▲9%減少した。
- 前年同月比で見ると、EUが▲20%、ロシアが▲8%減少する一方、中国が+24%増加した。

（単位：千m³）

年 国名	2020年 (1月～ 12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 6月	2021年 7月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～7月	2021年 1～7月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 1,022	[100%] 87	[100%] 88	+ 1%	▲ 15%	+ 2%	[100%] 643	[100%] 538	▲ 16%	▲ 4%
うち 構造用集成材	[100%] 910	[100%] 78	[100%] 76	▲ 2%	▲ 20%	+ 3%	[100%] 571	[100%] 471	▲ 18%	▲ 2%
EU	[82%] 835	[80%] 70	[80%] 70	▲ 0%	▲ 20%	+ 6%	[81%] 521	[79%] 423	▲ 19%	▲ 5%
うち 構造用集成材	[89%] 808	[88%] 68	[89%] 68	▲ 1%	▲ 21%	+ 7%	[88%] 502	[87%] 409	▲ 19%	▲ 3%
フィンランド	[36%] 372	[38%] 33	[36%] 32	▲ 3%	▲ 23%	+ 18%	[37%] 237	[38%] 205	▲ 13%	+ 9%
うち 構造用集成材	[41%] 369	[42%] 33	[41%] 32	▲ 3%	▲ 24%	+ 18%	[41%] 234	[43%] 203	▲ 13%	+ 9%
ルーマニア	[19%] 198	[18%] 15	[16%] 14	▲ 9%	▲ 29%	+ 1%	[18%] 119	[15%] 78	▲ 34%	▲ 16%
うち 構造用集成材	[21%] 188	[19%] 15	[17%] 13	▲ 12%	▲ 30%	▲ 1%	[20%] 112	[16%] 73	▲ 34%	▲ 16%
オーストリア	[13%] 132	[13%] 11	[15%] 13	+ 16%	+ 4%	▲ 3%	[13%] 82	[14%] 74	▲ 10%	▲ 5%
うち 構造用集成材	[13%] 120	[13%] 10	[16%] 12	+ 21%	+ 3%	+ 4%	[13%] 73	[15%] 68	▲ 7%	+ 2%
ロシア	[8%] 78	[6%] 5	[6%] 6	+ 2%	▲ 8%	▲ 43%	[8%] 52	[8%] 45	▲ 14%	▲ 11%
うち 構造用集成材	[7%] 68	[6%] 4	[6%] 5	+ 1%	▲ 18%	▲ 45%	[8%] 46	[8%] 38	▲ 17%	▲ 9%
中国	[6%] 56	[9%] 8	[9%] 8	▲ 6%	+ 24%	+ 51%	[6%] 36	[7%] 40	+ 11%	+ 31%
うち 構造用集成材	[4%] 34	[7%] 5	[5%] 4	▲ 22%	▲ 1%	+ 40%	[4%] 23	[5%] 24	+ 5%	+ 48%
その他	[5%] 53	[4%] 4	[5%] 5	+ 30%	+ 27%	▲ 17%	[5%] 34	[6%] 31	▲ 9%	▲ 15%
うち 構造用集成材	[0%] 1	-	-	-	▲ 100%	▲ 100%	[0%] 0	[0%] 0	▲ 87%	▲ 74%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.94号120、190、第4412.99号120、130、190と第4418.91号291、第4418.99号231、232、239（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

木材輸入量（木質ペレット）

- 2021年7月の木質ペレット輸入量は、前月比+22%、前年同月比+58%の29万トンとなった。国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア58%）が+32%、カナダ（同29%）が+26%増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが+16%、カナダが+167%増加した。

(単位:千トン)

年 国名	2020年 (1月～ 12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 6月	2021年 7月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～7月	2021年 1～7月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 2,028	[100%] 240	[100%] 293	+ 22%	+ 58%	+ 114%	[100%] 1,123	[100%] 1,704	+ 52%	+ 92%
ベトナム	[58%] 1,169	[45%] 108	[49%] 143	+ 32%	+ 16%	+ 237%	[58%] 652	[50%] 855	+ 31%	+ 85%
カナダ	[29%] 593	[41%] 98	[42%] 123	+ 26%	+ 167%	+ 32%	[30%] 337	[37%] 636	+ 89%	+ 77%
マレーシア	[8%] 160	[9%] 22	[4%] 11	▲ 52%	+ 15%	+ 1,189%	[9%] 103	[5%] 91	▲ 11%	+ 339%
オーストラリア	[2%] 51	-	-	-	▲100%	-	[0%] 0	47	+ 67,044%	+ 61%
タイ	[1%] 12	-	-	-	-	▲100%	[1%] 11	-	▲100%	▲100%
その他	[2%] 44	[5%] 11	[6%] 17	+ 48%	+ 147%	+ 3,971%	[2%] 20	[4%] 74	+ 263%	+ 2,969%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

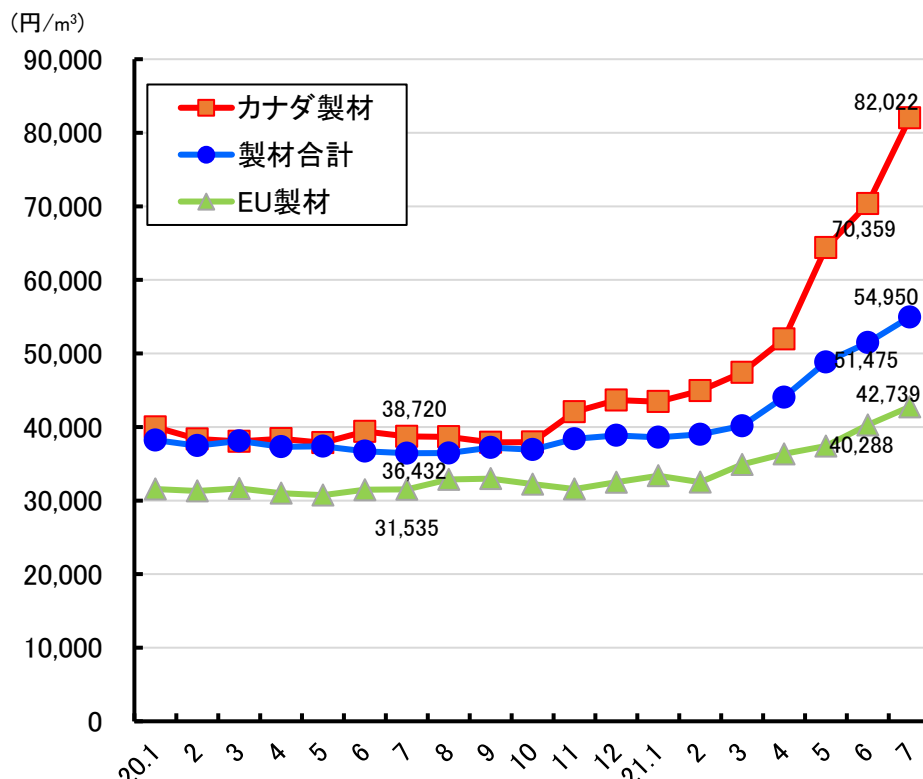
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

製材・構造用集成材の輸入平均単価

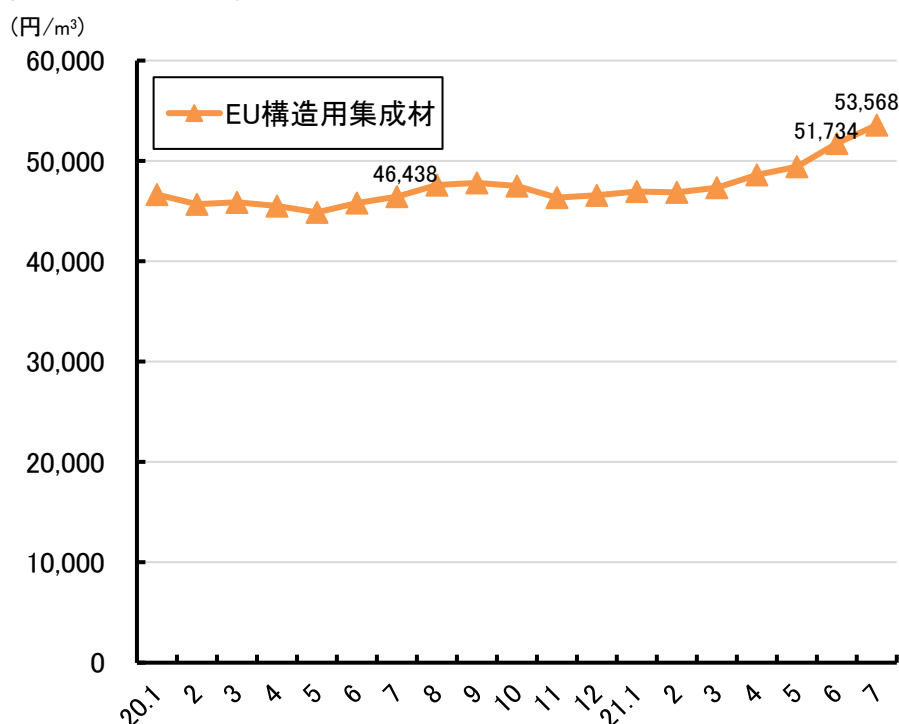
- 本年7月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比＋7％増の54,950円/m³（前年同月比＋51％）。うち、カナダの製材は、前月比＋17％増の82,022円/m³（前年同月比＋112％）、EUの製材は、前月比＋6％増の42,739円/m³（前年同月比＋36％）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比＋4％増の53,568円/m³（前年同月比＋15％）。

○製材の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

○構造用集成材の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

資料：財務省貿易統計

特用林産物の国内生産量

- 2020年の食用きのこ類の生産量は46万2,311tで、前年に比べ6,623t（1.5%）増加した。
- たけのこの生産量は2万6,448tで、前年に比べ4,163t（18.7%）増加した。
- 木炭の生産量は1万2,924tで、前年に比べ1,469t（10.2%）減少した。

○きのこ類

単位：t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32

注：まつたけの昭和47年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位：t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017

注：くりの平成22年～令和2年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年西洋なし、かき、くりの結実樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	非 食 用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガラ	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,925	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151

注：1 木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。
 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。
 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

出典：特用林産基礎資料

特用林産物の林業産出額

- 令和元年のきのこ類の林業産出額は、前年に比べ86.4億円減少し、2,170.2億円（対前年比3.8%減少）となった。
- 薪炭の林業産出額は、前年に比べ2.7億円増加し、58.1億円（対前年比4.9%増加）となった。

（単位：億円）

	H27	H28	H 29	H30	R元
栽培きのこ類	2,105.2	2,213.9	2,200.8	2,256.6	2,170.2
薪炭	53.1	54.9	54.4	55.4	58.1

出典：林業産出額

特用林産物の輸出入量

- 令和2年のきのこ類の輸出量は47トン（対前年比61.5%減少）、輸入量は29,958トン（対前年比8.9%減少）。
- 令和2年の木炭の輸出量は439トン（対前年比13.1%減少）、輸入量は79,739トン（対前年比44.6%減少）。

品目	単位	H28		H29		H30		R元		R2	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	30	5,134	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354
生しいたけ	トン	-	2,015	-	2,108	-	1,942	-	1,835	...	1,785
なめこ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
えのきたけ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
ひらたけ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
ぶなしめじ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
まいたけ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
エリンギ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
きくらげ類	トン	66	24,112	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190
まつたけ	トン	-	981	-	787	-	798	-	849	...	629
くり	トン	-	10,500	-	10,837	-	9,781	-	9,019	...	7,371
くるみ	トン	-	51,450	-	57,536	-	56,389	-	52,236	...	56,478
たけのこ	トン	-	168,578	-	172,499	-	167,868	-	157,296	...	142,544
ねまがりたけ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
わさび	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
おうれん	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
きはだ皮	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
木ろう	トン	8	-	14	-	3	19	7	10	4	9
生うるし	kg	-	43,324	-	40,925	-	35,879	-	36,254	...	30,165
つばき油	kl	-	314	-	154	-	177	-	180	...	220
竹皮	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
竹材	千束	0	256	-	244	1	251	0	215	0	194
桐材	m ³	-	11,707	-	12,527	-	10,750	-	10,099	...	9,726
木炭	トン	616	146,538	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739
竹炭	トン	1	7,689	-	8,061	-	8,744	-	9,414	12	7,605
木酢液	kl	-	-	-	-	-	-	-	-
竹酢液	kl	-	-	-	-	-	-	-	-
薪	千層積m ³	1	1	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326
オガライト	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
オガ炭	トン	-	56,525	-	56,135	-	53,679	-	54,183	...	44,499
煉炭	トン	-	-	-	-	-	-	-	-
豆炭	トン	-	-	-	-	-	-	-	-

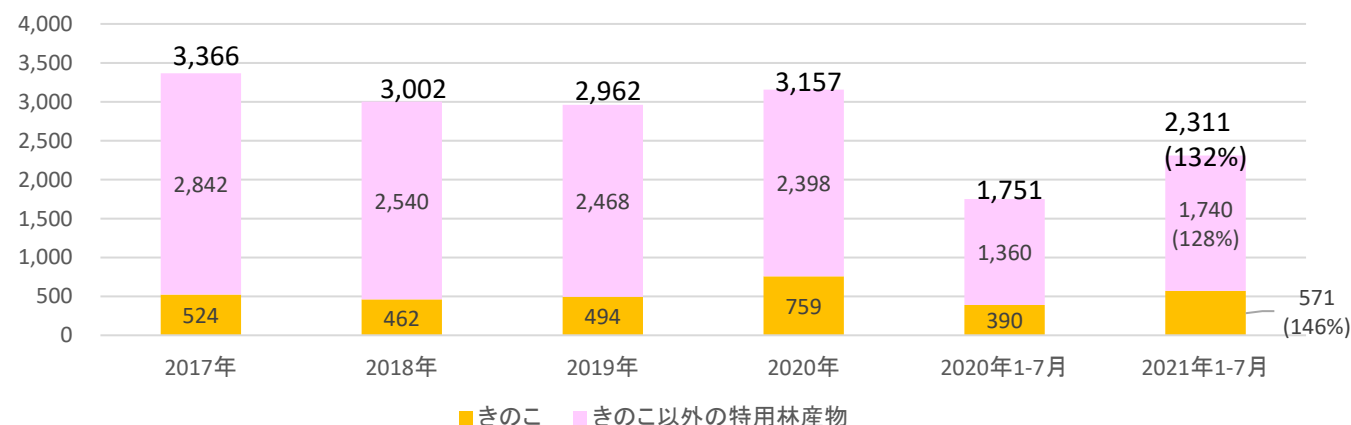
出典：特用林産基礎資料

特用林産物の輸出額①

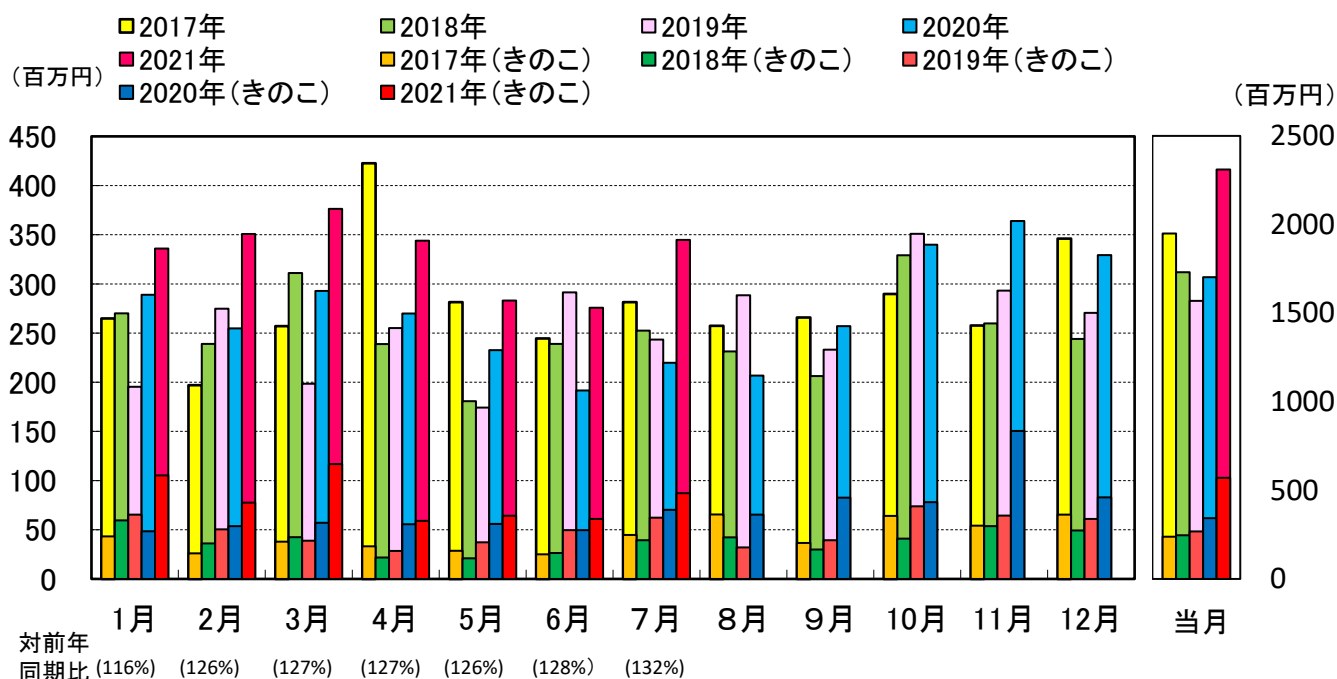
- 7月末までの特用林産物輸出額は2,311百万円（前年同期比132%、対前々年同期比141%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、571百万円（対前年同期比146%、対前々年同期比172%）、きのこ以外は、1,740百万円（対前年同期比128%、対前々年同期比134%）となった。
- 7月の輸出額は345百万円（対前年同月比157%、対前々年同月比126%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は87百万円（対前年同月比124%、対前々年同月比93%）、きのこ以外の特用林産物は258百万円（対前年同月比128%、対前々年同月比142%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

（百万円）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



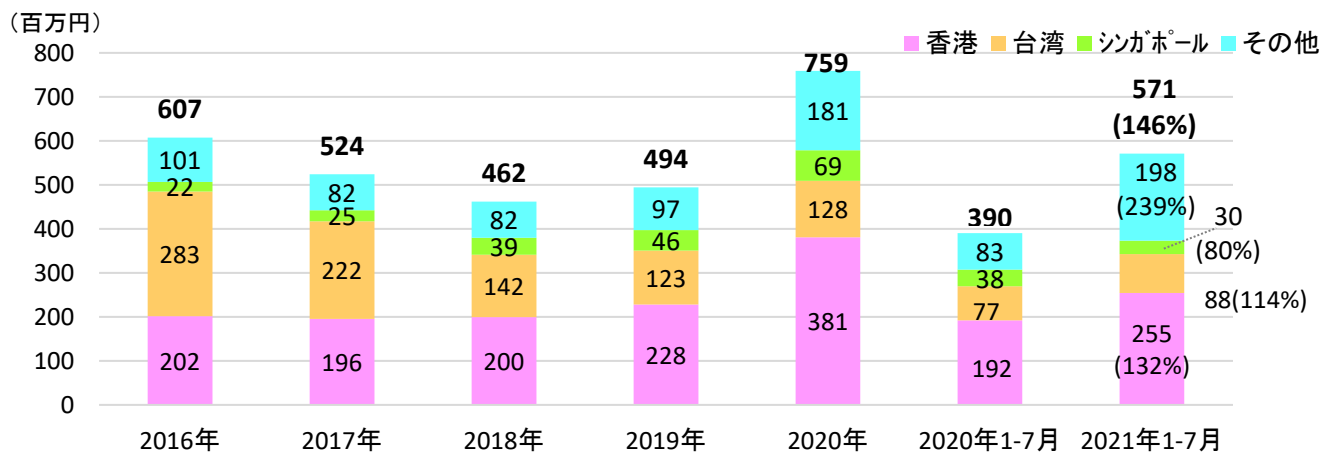
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。
 ※令和3年実績より、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産物の輸出額②

- きのこの7月末迄の輸出額は571百万円で、対前年同期比146%、対前々年同期比172%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比132%、台湾が114%、シンガポールが80%、対前々年同期比は香港が195%、台湾が127%、シンガポールが84%となっている。
- 輸出量で見ると7月末迄の合計は713トンで、対前年同期比120%、対前々年同期比120%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比125%、台湾が89%、シンガポールが97%、対前々年同期比は香港が232%、台湾が65%、シンガポールが60%となっている。

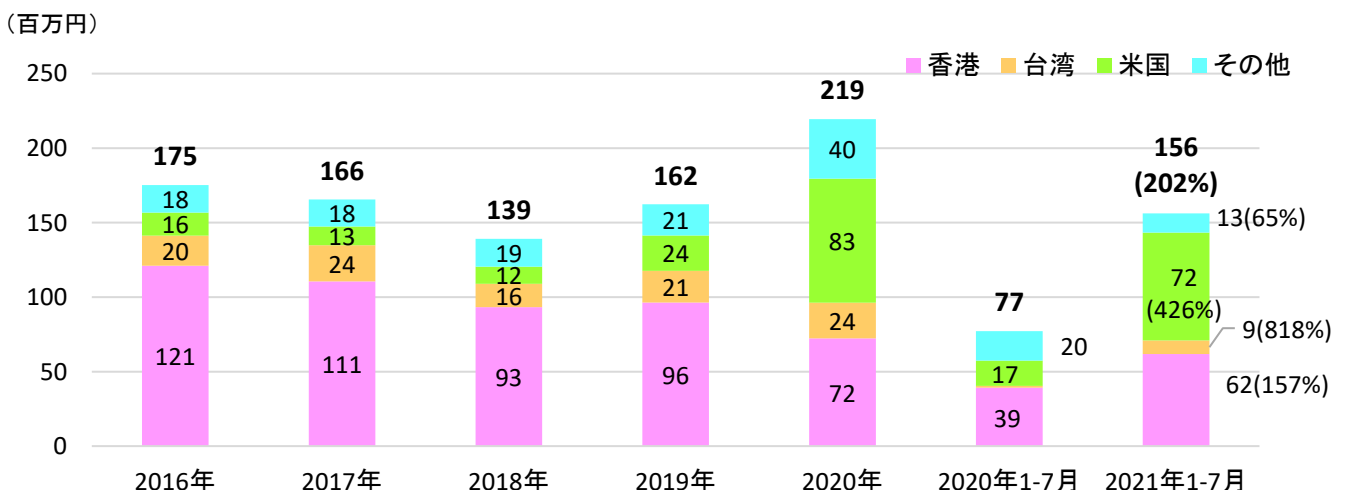
○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



※令和3年実績より、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 乾しいたけの7月末迄の輸出額は156百万円で、対前年同期比202%、対前々年同期比170%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比413%、台湾は818%、米国は426%、前々年同期比は香港が99%、台湾は349%、米国が724%となっている。
- 輸出量で見ると7月末迄の合計は24トンで、対前年同期比159%、対前々年同期比131%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は香港が138%、台湾が632%、米国が202%、対前々年同期比は香港が94%、台湾が108%、米国が231%となっている。

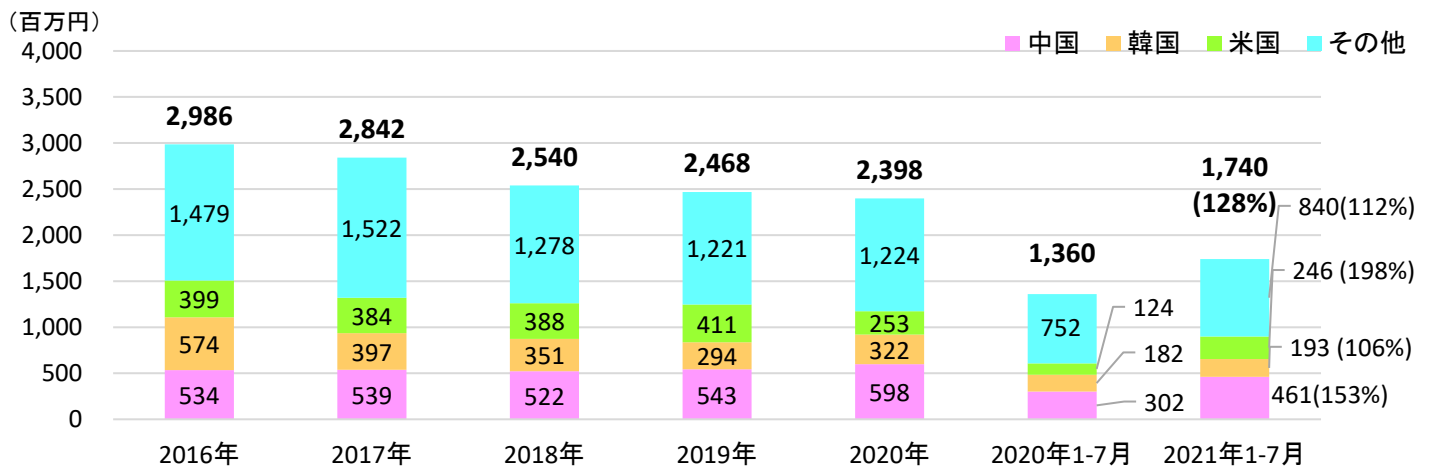
○乾しいたけ輸出額の推移（累計）



特用林産物の輸出額③

- きのこ以外の特用林産物の7月末迄の輸出額は1,740百万円で、対前年同期比128%、対前々年同期比134%となっている。国別には、中国が対前年同期比153%、韓国が106%、米国が198%となっている。対前々年同期比は、中国が163%、韓国が121%、米国が152%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比128%、植物性ろうが123%、テルペン油が117%、対前々年同期比は、ロジン（松脂）134%、植物性ろうが133%、テルペン油が74%となっている。
- 輸出量で見ると7月末迄の合計は1,711トンで、対前年同期比120%、対前々年同期比132%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比157%、韓国が106%、米国が131%、対前々年同期比は中国は128%、韓国は101%、米国は113%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

きのこ類の卸売量・価格

- 令和元年のきのこ類の卸売量は、237,224トン（前年比3.3%減少）。
- 令和元年のきのこ類の卸売価額は、103,897,522千円（前年比4.9%減少）。
- 令和元年のきのこ類の卸売価格は、全ての品目において前年よりも下がった。

きのこ類の卸売量

単位：トン

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	47,862	47,880	48,399	49,391	49,121
なめこ	16,004	15,993	15,549	16,143	16,193
えのきだけ	105,894	111,255	117,251	111,238	106,291
しめじ	75,413	75,164	72,518	68,505	65,619
合計	245,173	250,292	253,717	245,277	237,224

きのこ類の卸売価額

単位：千円

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	45,403,729	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380
なめこ	6,700,263	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066
えのきだけ	27,678,422	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698
しめじ	34,152,193	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378
合計	113,934,607	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522

きのこ類の卸売価格

単位：円/kg

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	949	960	954	905	886
なめこ	419	441	445	455	448
えのきだけ	261	244	218	237	228
しめじ	453	431	428	450	441

資料：青果物卸売市場調査